

英語 I

担当教員 一仲宗根 朋美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2~4年次対象 法・地行（月木5）

【授業のねらい】

CALL教室で、コンピュータソフトウェア教材Viva! San Francisco を用いて基本的なリスニングとスピーキング能力の養成を図ると同時に、別途指定された教科書を学習していく中で、リスニングの補強及び基礎的な文法力をつけていくことを目標とする。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Viva! San Francisco Chapter 1~5	17	Viva! San Francisco Chapter 6~10
2	Viva! San Francisco Chapter 1~5	18	Viva! San Francisco Chapter 6~10
3	Viva! San Francisco Chapter 1~5	19	Viva! San Francisco Chapter 6~10
4	Viva! San Francisco Chapter 1~5	20	Viva! San Francisco Chapter 6~10
5	Viva! San Francisco Chapter 1~5	21	Viva! San Francisco Chapter 6~10
6	Viva! San Francisco Chapter 1~5	22	Viva! San Francisco Chapter 6~10
7	Viva! San Francisco Chapter 1~5	23	Viva! San Francisco Chapter 6~10
8	Viva! San Francisco Chapter 1~5	24	Viva! San Francisco Chapter 6~10
9	Viva! San Francisco Chapter 1~5	25	Viva! San Francisco Chapter 6~10
10	Viva! San Francisco Chapter 1~5	26	Viva! San Francisco Chapter 6~10
11	Viva! San Francisco Chapter 1~5	27	Viva! San Francisco Chapter 6~10
12	Viva! San Francisco Chapter 1~5	28	Viva! San Francisco Chapter 6~10
13	Viva! San Francisco Chapter 1~5	29	Viva! San Francisco Chapter 6~10
14	Viva! San Francisco Chapter 1~5	30	Viva! San Francisco Chapter 6~10
15	Viva! San Francisco Chapter 1~5	31	期末テスト
16	中間テスト		

【履修上の注意事項】

教科書は、必ず購入して、辞書を授業に持ってくる（電子辞書可）。
30分以上遅刻した場合は、欠課とみなし、遅刻3回で1回の欠課とする。
10回以上欠課した場合は、単位を与えない。

【評価方法】

中間テスト、期末テストの結果に授業参加・貢献度を加味し、総合評価を決める。

【テキスト】

1. Viva! San Francisco (MACMILLAM LANGUAGEHOUSE) ラボ室ソフト教材のため、購入の必要はない。
2. Forerunner to Power-Up English (南雲堂) 受講者全員、必ず購入すること。

【参考文献】

特にないが、必要な際には、授業で適宜紹介する。

英語 I

担当教員 -奥間 隆伸

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

英語のspeaking, listening, reading, writing に関する基礎的な運用能力の養成及び向上を目指す。そのため週2回の授業の中、1回はCALL教室において英語I指定教科書：Viva! San Franciscoを使い日常の英会話習得とアメリカ文化に対する理解を深める。あとの1回は普通教室において別の教科書やプリントを使って、基礎的なリスニング・スピーキング力の向上を目指します。授業では個人、ペアワーク、グループワークを通じて積極的に英語に触れ、使っていく。

【授業の展開計画】

CALL教室においては、コンピューター化された教材：Viva! San Francisco を使用し英語の基礎的な4技能（リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング）の習得と向上を目指す。その際、個人、ペアワーク、クラス全体での活動を行ないます。通常教室においては、別の教科書やプリントを使って基礎的なリスニングやスピーキング力の向上を目指し、英語の運用能力を高めていく。そのため、受講者は積極的に授業に参加することが求められます。レッスン毎に単語や重要表現に関するテストをおこなう。

第1週： 講義の概要説明、英語による自己紹介

第2週～第7週： 各課の学習

第8週： 中間試験

第9週～第15週： 各課の学習

第16週： 期末試験

【履修上の注意事項】

1. 積極的に授業に参加してください。特にCALL教室では、自主的、意欲的な学習態度が必要です。
2. 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。
3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。
4. 教室では携帯電話の電源を切ること。
5. 遅刻、私語、居眠り、携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。

【評価方法】

出席点25%、平常点25%（宿題・小テスト・レポート・授業への参加度）、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。

総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。
また遅刻3回で欠席1回とみなします。

【テキスト】

1. Viva! San Francisco, Hiroto Ohyagi & Timothy Kiggell (Macmillan) 2000円(税別)
2. On Air Listen and Communicate, Graeme Todd, Rogger Palmer, 加野まきみ 金星堂 2100円(税別)
を使用予定

【参考文献】

必要に応じて授業で配布します。

英語 I

担当教員 真喜志 満

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地行(水土1)

【授業のねらい】

普通教室での授業の日は、「つぶやき英語トレーニング(七田 真監修)」の手法を用いて、日常頻繁に使われる基礎的な英語表現を、考えなくても自然に口をついて出てくるようになるまで演習を行い、翌週に小テストで記憶の確認を行う。CALL教室での授業の日は、ITを活用して、既存の教材“Viva! San Francisco”と洋楽を導入、活用して、ヒアリングとスピーキングの技能を高めるよう演習し、さらにITによる小テストで習得の確認を行う。英語が苦手な人でも、言語障害をも克服できると言われる「音楽療法」を取り入れることで、少しでも英語を無理なく楽しく学べ、同時に異文化への関心も高めてもらうのがこのコースの狙いである。

【授業の展開計画】

週1回は、普通教室で「つぶやき英語トレーニング」のテキストを使って、各場面の英語表現を暗記する作業を中心に行う。まず、英語を聞いて、和訳で状況のイメージをつかみ、その後英語表現の理解と習得に努め、音読、ディクテーションなどを行っていき、最終的に暗記できるまで演習を行う。そしてその結果、どれだけ暗記できたかを確認する小テストを翌週に実施する。前期は、Scene4, 6, 7, 10, 13, 14, 17, 18, 20, 22, 27, 30, 35, 36を順に学習していく。

また、別の日の週1回は、“VIVA SANFRANCISCO”をChapter1から順にCALL教室のシステムを活用して演習していくが、授業では全文の解釈や注釈にとどめ、具体的な練習問題とその解答の確認やその他の練習は、各自宿題として自主学習するものとする。またCALL教室では、専用サーバーに用意した洋楽教材を活用して、詩の解釈や注釈を行い、各アーティストが歌う音楽を鑑賞する。ただその際、音楽を聴いて楽しむだけではなく、詩を暗記する努力や、ヒアリングを向上させる努力、また発音やイントネーションの矯正など必要な学習や演習を忘れてはならない。また、洋楽についても、翌週どこまで習得・記憶できたかを試す小テストをシステムを使って行う。さらに時々、歌い易い洋楽については、一緒に口ずさんで練習し、グループで歌の練習の成果を発表させることもある。

【履修上の注意事項】

公休日や休校、その他特別な事情で、同じ曜日が連続する場合があるので、講義内容や小テストの日程などを間違えないよう準備すること。欠席する学生は、できる限り事前に所定の欠席届を提出すること。急な病欠などは仕方がないので、翌週までに医療機関にかかったことを証明する書面をコピーして欠席届に添付して提出すること。それ以外は、「病欠」とは認められない。「公欠」についても、必ず顧問の教官から出された書面を添付して提出すること。出欠は授業開始と同時に取るので、遅刻をしないよう心がけること。

【評価方法】

出席10%、小テスト(つぶやき英語)30%、小テスト(洋楽)40%、宿題(Viva SFの自主学習)20%、その他+/-5%。なお、「その他」とは授業態度や授業への貢献度などが総合的に加味される評価である。

【テキスト】

「超右脳つぶやき英語トレーニング」七田真監修、登内和夫・Elizabeth Townsend・Terri-anne Sole著(総合法令出版株式会社)

【参考文献】

英和・和英・英英辞典、英文法書、あるいは電子辞書やインターネット上の文献・ホームページなど

英語 I

担当教員 一ツヨウ ターハート

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 英米 (火金1)

【授業のねらい】

This class is designed to help students improve the four skills of reading, writing, listening and speaking, with a focus on listening and speaking. The class will include a variety of pair and group activities to develop conversational skills.

【授業の展開計画】

English I will cover the first half of the text, Marathon Mouth. In addition, other materials will be used to expand on and reinforce what is covered in the text.

【履修上の注意事項】**【評価方法】**

The final grade will be based on homework, tests, quizzes, attendance, participation, interviews and presentations to be made in class.

【テキスト】

Marathon Mouth (Intercom Press) will be used, as well as supplementary materials that will be provided by the instructor.

【参考文献】

英語 I

担当教員 中根 佳

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）、経済（火金2）

【授業のねらい】

このクラスでは、英語を単なる“語学”として学習するのではなく、小さな間違いを恐れる事なくコミュニケーションの“道具”として実際に使う事が出来るよう練習していきます。火曜日はCALL教室を使用し、Viva! San Franciscoに紹介されている様々な場面を用いて、リスニング、スピーキング力の向上を目指します。金曜日はペアやグループ学習を取り入れ、CALL教室で学んだフレーズ等をどう活用していくのか考え、学生の興味のあるトピックも取り上げながら、異文化への理解と関心を深める事を目指します。

【授業の展開計画】

Week 1: Introduction

Week 2-7: Viva! San Francisco (Chap. 1-6)

Week 8: 中間テスト

Week 9-14: Viva! San Francisco (Chap. 7-12)

Week 15: 期末テスト

【履修上の注意事項】

週2回の授業のうち、火曜日はCALL教室（5-202）金曜日は9-402を使用します。15分以上遅刻した学生は遅刻とみなし、3回の遅刻で1回の休みとして数えます。

3回以上休むと最終成績を1つ落とします（優→良）。授業中は携帯電話の電源は切る、又はサイレントモードにして下さい。

【評価方法】

出席と授業態度・・・10 points スピーチ・・・15 points

宿題・・・10 points 中間テスト・・・25 points

スマールクイズ・・・15 points 期末テスト・・・25 points

【テキスト】

Ohyagi, H., & Kiggell, T. (1998). Viva! San Francisco. Tokyo: Macmillan Languagehouse.

【参考文献】

クラス内で 別途配布、又は連絡します。

英語 I

担当教員 富里 明美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 産情(水土2)、日文(水4土3)

【授業のねらい】

英語でのコミュニケーション能力向上のため、「聴く」「話す」「読む」「書く」の4技能を養成する。週2回のクラスのうち1回はCALL教室を使用する。教室での講義は、下記テキストを使用して講義を行う予定である。

語学の学習においては、学生が積極的に参加し、発言することが重要だと考えるため、下記「評価方法」の中に「講義への貢献度」の項目を設けた。講義に出席し、Volunteer point の取得を頑張ってください。

【授業の展開計画】

- 1週目:オリエンテーション
- 2週目:Viva San Francisco: Chapter 1 (Quiz 1)
- 3週目: " " : Chapter 2 (Quiz 2)
- 4週目: " " : Chapter 3 (Quiz 3)
- 5週目: " " : Chapter 4 (Quiz 4)
- 6週目: " " : Chapter 5 (Quiz 5)
- 7週目: " " : Chapter 1-5 まとめ
- 8週目: 中間テスト
- 9週目: " " : Chapter 6 (Quiz 6)
- 10週目: " " : Chapter 7 (Quiz 7)
- 11週目: " " : Chapter 8 (Quiz 8)
- 12週目: " " : Chapter 9 (Quiz 9)
- 13週目: " " : Chapter 10 (Quiz 10)
- 14週目: " " : Chapter 6-10 まとめ
- 15週目:期末テスト

【履修上の注意事項】

1. 出席は毎回確認し、出席時数が2/3に満たない学生は単位取得対象にならないので注意すること。
2. 毎回講義には英語辞典(少なくとも英和辞典)を持参すること。電子辞書も可。
3. 欠席届は必ず提出すること。
4. 出席状況および受講態度を重視する。

【評価方法】

中間テスト(テキスト):20% 期末テスト(テキスト):20%
 クイズ(Viva! San Francisco):20%
 課題・提出物:20%
 講義への貢献度:10%
 出席:10%

【テキスト】

Step Up to Better English 「日英おもしろ文化比較」 朝日出版社 ¥1,700

【参考文献】

特になし。オーラルレッスン用および英作文用等の追加教材は、随時プリントを配布する。

英語 I

担当教員 長嶺 広美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地行（水土1）、企シ（水土2）

【授業のねらい】

ListeningとSpeakingを中心に総合的な英語学習を通じて、コミュニケーション能力を高めることを目標とする。

【授業の展開計画】

第1週： Introduction to the class
第2～7週： Viva! San Francisco Chap 1～5
第8週： 中間テスト
第9～14週： Viva! San Francisco Chap 6～10
第15週： 期末テスト

【履修上の注意事項】

週2回のクラスの1回をCall 教室でViva! San Francisco を利用し、1回を普通教室で指定テキストを使用してListeningとSpeakingに焦点を置いて授業を進める。また、基本的な英文法も学ぶ。プレゼンテーション等学生主体のクラスとしていくので、積極的なクラス参加を望む。3分の1以上の欠席者は単位を認めない。また、遅刻3回で1回の欠席とみなす。

【評価方法】

授業貢献度 10% クイズ 20%
プレゼンテーション 20% 中間・期末試験 50%

【テキスト】

Viva! San Francisco（購入の必要はありません）
Take It Easy! センゲージラーニング社（必ず購入して下さい）

【参考文献】

辞書は必ず持参すること

英語 I

担当教員 赤嶺 ゆかり

対象学年 2年

単位区分 選択

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（月木5）

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語 I

担当教員 糸数 淳子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

総合的な英語力（読む・聴く・書く・話す）のスキルのうち、特にリスニング力とスピーキング力を伸ばす訓練を行います。聞き取った言葉を瞬時に理解しすぐに反応する練習をペアやグループで行い英語での円滑なコミュニケーションを目指します。又、簡単な読み物の音読、多様なリスニング教材のシャドーイング練習（リピティング）を通し聞き取り易い標準的な英語の発音やイントネーションを意識すると共に、異なる英語のアクセントにも慣れる事を目標とします。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション & Skill Check	17	Viva! San Francisco Ch.4-6 まとめ
2	Viva! San Francisco Ch.1	18	Listening Practice 7
3	Listening Practice 1	19	Viva! San Francisco Ch.7
4	Viva! San Francisco Ch.2	20	Listening Practice 8
5	Listening Practice 2	21	Viva! San Francisco Ch.8
6	Viva! San Francisco Ch.3	22	Listening Practice 9
7	Listening Practice 3	23	Viva! San Francisco Ch.9
8	Listening Practice 4	24	Listening Practice 10
9	Viva! San Francisco Ch.1-3 まとめ	25	Viva! San Francisco Ch.7-9まとめ
10	Listening Practice 5	26	Listening Practice 7-10まとめ
11	Viva! San Francisco Ch.4	27	Viva! San Francisco Ch.10
12	Listening Practice 6	28	Viva! San Francisco Ch.1-10 まとめ
13	Viva! San Francisco Ch.5	29	期末テスト (Listening Practice 7-10)
14	Listening Practice 1-6まとめ	30	Performance Review Group 1
15	Viva! San Francisco Ch.6	31	Performance Review Group 2
16	中間テスト (Listening Practice 1-6)		

【履修上の注意事項】

- *中間・期末テスト以外に、必要に応じて数回小テストを実施する場合があります。
- *毎回、英和辞典を授業に持参して下さい。

【評価方法】

1. 火曜日講義： 中間、期末テスト、課題提出状況、ミニテストを主として評価。又、クラスのアクティビティ（ペアワーク・グループワーク）の際の貢献度、学習態度、出席率等も評価の対象となります。
2. 金曜日ラボ： スキットCh 1-10を台本なしに発表してもらいそのパフォーマンスを評価します。中間テスト期末テストを行わないので、毎回授業中に行う発表及び評価結果がそのまま最終評価につながります。

【テキスト】

1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要はありません)
2. ハンドアウト

【参考文献】

授業の中で紹介します。

英語 I

担当教員 小橋川 里美

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 1年次対象 法律（水土1）

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

教科書は「Homestay Adventures」、listening, speakingを中心に学びます。日常生活レベルの英語を聞いて理解し、自分の言いたいことを英語で的確に表現できるようにする。英語母語話者の会話やインタビューの映像を見ながら、英語スクリプトに日本語字幕を入れる作業を通して、より自然な英語表現に触れ学んでほしい。中間・期末試験、会話の暗唱テスト、Listening Quiz, そしてペアを組んで自分達で英語のスキット（5分間）を作成し、台本を英語で書き、演じてもらう。

【授業の展開計画】

週 2 回の授業のうち、1回はラボ教室です。
 ユニット毎に、暗唱テスト、Listening Quiz、日本語字幕入れがあります。
 以下のスケジュールは変更する場合があります。
 詳細は最初の授業のときに説明します。

週	授 業 の 内 容
1	Introduction, PC操作方法の説明等、 Unit 1
2	Unit 1
3	Unit 2
4	Unit 2
5	Unit 3
6	Unit 3
7	Midterm Examination (Units 1-3)
8	Unit 4
9	Unit 4
10	Unit 5
11	Unit 5
12	Unit 6
13	Unit 6、 Skitの準備
14	Skitの準備
15	Skit発表 (1)、 Skit発表 (2)
16	Final Examination (Units 4-6)

【履修上の注意事項】

辞書を持参。出席に関しては、遅刻 3 回で一回の欠課（欠席扱い）とみなします。欠課が10回になると、単位はありません。

【評価方法】

出席状況＋授業への参加姿勢・・・・・・・・・・ 10%
 暗唱テスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10%
 Listening Quiz・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10%
 英語のskit・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20%
 中間試験・期末試験・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50%

【テキスト】

・Homestay Adventures (Macmillan Languagehouse)

【参考文献】

特になし

英語 I

担当教員 芦峰 隆章

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 企業システム学科（水土2）適用シラバス

【授業のねらい】

この授業では、「読む」、「書く」、「聴く」、「話す」、の英語の四技能を全てバランス良く伸ばすことを目指す。比較的短い英文を多読、速読できるようにする。会話文を英語で書いて口頭で発表しその内容について英語で質疑応答できるようにする。CALL教室ではテキストのリスニングやE-Learning, DVDや英語の歌等の多様な教材を使って、語彙も増やしながらかき取る技能を向上させる。四技能全てが相互的に機能していることを絶えず意識させながら授業を進めていく。

【授業の展開計画】

*学生の理解度を深めるためにテキストの各ユニットが必ずしもページの若い順に進まないことがあるし、ユニットも前後する場合もある。

**テストの期日が予定とは若干ずれる可能性もある。

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	テキストUnit 1
3	テキストUnit 1
4	テキストUnit 2
5	テキストUnit 3
6	テキストUnit 3
7	テキストUnit 4
8	中間試験
9	テキストUnit 5
10	テキストUnit 5
11	テキストUnit 6
12	テキストUnit 7
13	テキストUnit 7
14	テキストUnit 8
15	英会話テスト
16	期末試験

【履修上の注意事項】

毎回辞書を持参すること。（電子辞書でもよい。）

【評価方法】

中間・期末試験 : 70%
英会話テスト : 20%
授業への参加度 : 10%

【テキスト】

openMind Student's Book 1
(MACMILLAN LANGUAGEHOUSE, 2010)

【参考文献】

特にないが必要時には紹介する。

英語 I

担当教員 松田 順子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地環（火金2）

【授業のねらい】

英語の4領域（聴く、話す、読む、書く）に於ける総合的な学習を通じて、コミュニケーション能力を高めることを目標とする。

【授業の展開計画】

- 第1～7週 : VIVA! SAN FRANCISCO Chapter 1～5、ハンドアウト1～5
- 第8週 : 中間テスト
- 第9～12週 : VIVA! SAN FRANCISCO Chapter 6～10、ハンドアウト6～10
- 第13～14週 : Performance (Group presentation)
- 第15週 : 期末テスト

【履修上の注意事項】

ラボ室では、VIVA! SAN FRANCISCO と映画の短いシーンを活用しての聴く学習を中心に進め、教室では、配布されるハンドアウトをもとに、英語圏の文化についての理解を深めたり、会話に必要な表現を学ぶことができるよう、共に工夫する。受講生はペアを組んで練習をすることを拒まず、意欲的に参加することが求められる。毎週作文を書くことで、文法事項を確認する。私語などによって他の受講生の学習の妨げをすることを慎むこと。
*週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する

【評価方法】

授業への参加姿勢・貢献度（質問など）、ペアを組んでのパフォーマンス、及びテストを総合的に評価する。

【テキスト】

- *毎回ハンドアウトを配布する。
- *Viva! San Franciscoを購入する必要はない。

【参考文献】

適宜紹介する。

英語 I

担当教員 山川 満夫

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 法律（水土1）、経済（火金2）、社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

スピーキング力とリスニング力の育成を中心に、英語の基礎力アップを目指します。Warm-Up活動等では中学・高校での既習事項を振り返りながら、ペアやグループ学習を取り入れインターアクティブ（双方向）な授業展開をしますので、積極的な発言が望まれます。週1回はCALL教室を使用し、聞き取りを中心に音読や実践的な口語表現を練習し、英会話力アップを目指します。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション	17	Viva! San Francisco Ch.7他
2	英語の基礎力養成1	18	英語の基礎力養成8
3	Viva! San Francisco Ch.1	19	Viva! San Francisco Ch.8他
4	英語の基礎力養成2	20	英語の基礎力養成9
5	Viva! San Francisco Ch.2他	21	Viva! San Francisco Ch.9他
6	英語の基礎力養成3	22	英語の基礎力養成10
7	Viva! San Francisco Ch.3他	23	Viva! San Francisco Ch.10他
8	英語の基礎力養成4	24	英語の基礎力養成11
9	Viva! San Francisco Ch.4他	25	Viva! Ch.6～10総まとめ（テスト）
10	英語の基礎力養成5	26	英語の基礎力養成12
11	Viva! San Francisco Ch.5他	27	スピーキングテスト準備
12	英語の基礎力養成6	28	英語の基礎力養成13
13	Viva! Ch.1～5総まとめ（テスト）	29	スピーキングテスト（1）
14	英語の基礎力養成7	30	スピーキングテスト（2）
15	Viva! San Francisco Ch.6他	31	英語の基礎力養成8～13（期末点検）
16	英語の基礎力養成1～7（中間点検）		

【履修上の注意事項】

(1) 中間・期末テストの他に、スピーチテストを実施します。(2) 遅刻・早退は2回につき1回の欠席とみなします。また、総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価が「不可」となります。(3) 毎回、英和辞典を授業に持参することが望ましいです。(4) 宿題が出される際には、確実に提出して下さい。(5) 大学指定のクラスへの登録となりますので注意してください。本クラスに指定されていない学生はWeb登録しても、実際の登録は認められません。

【評価方法】

①出席状況や授業態度、②発言回数、③スピーチテスト、④中間・期末テスト、⑤提出課題、の結果を総合的に判断して評価する。

【テキスト】

1. Viva! San Francisco（ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし）
2. 講師指定の教科書（オリエンテーション時に連絡する。）

【参考文献】

英語 I

担当教員 大城 明子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地行(水土1) 地環(火金2)

【授業のねらい】

大学生として必須の英語力（語彙、文法）を身につけながら、リスニングとスピーキングの基礎力を養成する。週一回のラボ室では、全学教材のViva!San Franciscoの学習や様々なメディア教材を用いて、異文化理解を深めつつ実践的な聴解力の向上をめざし、もう一方の普通教室では上記の語彙や文法を中心の学習を行いながら、その履修内容を発話（スピーキング）につなげ基本的なコミュニケーション力を培う。

【授業の展開計画】

（以下Viva!はテキストViva! San Franciscoをさす。週一回はCALL教室での授業となる）英語基礎力とは、授業のねらいに記したところの大学生として必須の英語力である語彙、文法のことである。学習内容の定着を確実にするため、小テストおよび定期的なテストを行う。また、学期末に、本クラスでの学習の集大成としてスピーキングテストを行う。（なお、以下の各回の学習内容は、進捗度や使用教室により変更およびずれ等があるので注意すること）

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション	17	ラボ室学習 Viva!7回目、他
2	英語自己紹介 他	18	英語基礎力養成1-6中間点検
3	ラボ室利用オリエンテーション Viva!Ch1	19	ラボ室学習 Viva!8回目、他
4	英語のしくみ（概要） 他	20	英語基礎力養成7
5	ラボ室学習 Viva!1回目、他	21	ラボ室学習 Viva!9回目、他
6	英語基礎力養成1	22	英語基礎力養成8
7	ラボ室学習 Viva!2回目、他	23	ラボ室学習 Viva!10回目、他
8	英語基礎力養成2	24	英語基礎力養成9
9	ラボ室学習 Viva!3回目、他	25	Viva! 全体学習定着点検（テストも含む）
10	英語基礎力養成3	26	英語基礎力養成10
11	ラボ室学習 Viva!4回目、他	27	スピーキングテスト関連1
12	英語基礎力養成4	28	英語基礎力養成11
13	ラボ室学習 Viva!5回目、他	29	スピーキングテスト関連2
14	英語基礎力養成5	30	英語基礎力養成7-11期末点検 他
15	ラボ室学習 Viva!6回目、他	31	総点検：スピーキングと英語基礎力養成
16	英語基礎力養成6		

【履修上の注意事項】

○受講に際しては英和と和英辞典（電子辞書）を必携のこと（抜き打ち辞典チェックをします） ○語学は能動的に学習しなければ力はつきませんので、クラスでも能動的および積極的に参加してください。 ○週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する ○英語 I では学生は大学指定のクラスへの登録となりますので注意してください。本クラスに指定されていない学生はWeb登録が行えても、実際は登録は認められません。

【評価方法】

授業への参加、試験、Speech、発表、出席、遅刻、態度などを総合的に評価する。

【テキスト】

1Viva!San Francisco大八木廣人他マクミランゲージハウス(ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし) 2講師指定の教科書(オリエンテーション時に説明するテキストを大学書店で必ず購入すること) 3講師作成配布のStudy Guide

【参考文献】

英語 I

担当教員 宮平 勝行

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 経済・環境・企シ・産情（月木5）

【授業のねらい】

英語のリスニングとスピーキング力の向上を図ることによってコミュニケーション能力を高めるのがこのクラスの教育目標です。大学生にとって馴染みのある日常的な題材からグローバルな科学的トピックまで、様々な話題をもとに英語の会話やナレーションを聴き、自ら批判的に考え、英語で表現する訓練を繰り返します。こうした活動を継続することによって、大学生としての教養と英語力を高めます。

【授業の展開計画】

SkillfulはSkillful Listening & Speaking 1を指します。（書誌情報についてはテキスト欄参照。）

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション 英語によるクラスメイト紹介	17	中間テスト
2	Skillful Unit 1: Listening Skills	18	Skillful Unit 4: Listening Skills
3	Skillful Unit 1: Listening Skills	19	Skillful Unit 4: Listening Skills
4	Skillful Unit 1: Speaking Skills	20	Skillful Unit 4: Speaking Skills
5	Skillful Unit 1: Speaking Skills	21	Skillful Unit 4: Speaking Skills
6	Skillful Unit 1: Activities	22	Skillful Unit 4: Activities
7	Skillful Unit 2: Listening Skills	23	Skillful Unit 5: Listening Skills
8	Skillful Unit 2: Listening Skills	24	Skillful Unit 5: Listening Skills
9	Skillful Unit 2: Speaking Skills	25	Skillful Unit 5: Speaking Skills
10	Skillful Unit 2: Speaking Skills	26	Skillful Unit 5: Speaking Skills
11	Skillful Unit 2: Activities	27	Skillful Unit 5: Activities
12	Skillful Unit 3: Listening Skills	28	Skillful Units 1～5まとめ
13	Skillful Unit 3: Listening Skills	29	スピーキング・テスト
14	Skillful Unit 3: Speaking Skills	30	スピーキング・テスト
15	Skillful Unit 3: Speaking Skills	31	期末テスト
16	Skillful Unit 3: Activities		

【履修上の注意事項】

学期中、1/3（10回）以上授業を欠席した場合は、自動的に不可の成績となります。正当な理由がなく講義を欠席した場合は、1回ごとに総合点（100点）から2点ずつ減点します。3回の遅刻は1回の欠席とみなすので注意しましょう。やむを得ぬ理由で授業に出席できない学生は、事前に電話もしくは電子メールで申し出てください。事前の申し出がない限り追試などはいりません。また、事前の申し出がなく、予定された日に試験やクイズを受けられない場合、得点は0点となります。

【評価方法】

クイズ（20%）、中間テスト（30%）、期末テスト（30%）、スピーキング・テスト（10%）、受講態度及び授業への貢献度（10%）で評価します。

【テキスト】

Baker, L. & Gershon, S. (2012). Skillful listening & speaking, student book 1. Oxford: Macmillan Education.

【参考文献】

教員が用意するハンドアウト教材。英和辞書、和英辞書、英英辞書（電子辞書を含む）。

英語 I

担当教員 野口 正樹

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次 対象 英米 (火金1)

【授業のねらい】

本講義は、初日の orientation を除き、dictation と pronunciation practice を主軸に行います。まず、1文毎の英文を1度聴取し、聞いた通りの英語を書き取ります。続いて、textbook の例文を用いてpair/group で練習した後、例文の発音チェックに移ります。日本文に対応する英文を出来る限り早く正確に reproduce し、発音チェックに合格することが求められます。時間が許せば、簡易な communicative activity を行います。

【授業の展開計画】**【履修上の注意事項】**

- ① 受講予定者は、講義初日の orientation に必ず参加し、内容・方法を理解することが履修の前提です。
- ② 無断遅刻・欠席・退出は一切認められません。正当な理由がある場合は、事前に必ず mail 連絡下さい。
- ③ 課題は毎時期限までに完成させます。
- ④ 携帯電話の電源は切っておきましょう。また、textbook 及び辞書、筆記用具は必須です。
- ⑤ 講義内での私語及び居眠り・他者への迷惑行為等は問題外になります。

【評価方法】

- ① 授業出席度 (原則皆勤)
- ② dictation/quick response /listening comprehension
- ③ 英語の理解と使用
- ④ 質疑応答
- ⑤ 課題
- ⑥ 受講姿勢

【テキスト】

講義内で連絡します。

【参考文献】

講義内で別途配布または連絡します。

英語 I

担当教員 カレン ルーダス

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 産情（水土2）、企シ（水土1）

【授業のねらい】

The course is conducted in ENGLISH ONLY. (Maximized language input for students.)

The purpose: to enable students to perform better at university and work (employment) situations.

The goal: for students to learn to work effectively together and take responsibility for their own and the group's performance. On a daily basis, students actively listen, read, and write. Speaking in English is a student's right and choice, not an obligation. The teacher does not speak Japanese.

【授業の展開計画】

Provisional schedule, to be adjusted as needed.

1-2 Introduction of semester plans and procedures; getting acquainted; "job-contracting".
Explanation of students' rights and responsibilities.

3-11 Student assessment is on-going through regular class sessions (usually 40 minutes of individual reading/writing; 5-minute break; 40 minutes for team-based activities; 5-min. wrap-up). As the semester progresses, students learn how to merge individual work and team work.

Class activities may include short lectures on fundamentals of English (sounds, spelling, handwriting, word-classification, grammar, and style, compared with Japanese).

Focus on note-taking and quizzes.

12-14 Assessment consultation (by appointment or during regular class sessions).

15 Class- and self-evaluation; submission of evidence of accomplishments.

【履修上の注意事項】

Students are expected to be self-reliant, responsible, and mutually supportive. Grades reflect students' demonstrated effort to achieve their own goals & to help others achieve theirs.

【評価方法】

Self- and peer-assessment are fundamental to this course. Students choose the grade they wish to "earn" and receive it only if they fulfill their "contract".

【テキスト】

To be announced & explained during registration period. (Variable according to students' abilities and self-determined goals.) Most in-class materials are teacher-produced. In principle, students' notebooks and folders become their textbooks.

【参考文献】

英語 I

担当教員 新垣 實

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

英語のspeaking、listeningに関する基礎的な運用能力を養成しその向上を図るとともに、英米の言語習慣や文化などについて学びます。さらに、日本語、英語、沖縄の諺や格言などについて比較し、その文化の類似点・相違点などについて勉強する。

【授業の展開計画】

第1週 Lesson 1
第2週 Lesson 2
第3週 Lesson 3
第4週 Lesson 4
第5週 Lesson 5
第6週 Lesson 6
第7週 Lesson 7
第8週 Lesson 8
第9週 Lesson 9
第10週 Lesson10
第11週 Lesson11
第12週 Lesson12
第13週 Lesson13
第14週 Lesson14
第15週 Lesson15
第16週 まとめ

【履修上の注意事項】

1. 英和辞典を持参すること。 2. 遅刻をしないこと。 3. 無断欠席をしないこと。 4. 携帯電話の電源を切ること。 5. 居眠りをしないこと。 6. 私語をしないこと（私語をすると即退室）。

【評価方法】

毎回ペアで対話発表や個人発表をしてその都度評価するとともに、受講態度、宿題、出欠などを総合的に勘案し評価する。

【テキスト】

プリント教材などを準備する。

【参考文献】

英語 I

担当教員 芦峰 隆章

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 日本文化学科(水4土3)適用シラバス

【授業のねらい】

この授業では、「読む」、「書く」、「聴く」、「話す」、の英語の四技能を全てバランス良く伸ばすことを目指す。観光ガイドに必要な日本文化や風物に関する英会話を聴いて練習して、各グループで独自の英会話文を作って発表し英語での質疑応答ができるようにする。テキストの語彙、和文英作、観光に関する練習問題などもこなして技能の向上をはかる。CALL教室ではテキストのリスニングやE-Learning, DVDや英語の歌等の多様な教材を使って、楽しみながら英語が聴き取れるようになることを目指す。

【授業の展開計画】

*学生の理解度を深めるためにテキストの各ユニットが必ずしもページの若い順に進まないことがあるし、ユニットも前後する場合もある。

**テストの期日が予定とは若干ずれる可能性もある。

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	テキストLesson 1
3	テキストLesson 2-3
4	テキストLesson 4-5
5	テキストLesson 6-7
6	テキストLesson 8
7	テキストLesson 9
8	中間試験
9	テキストLesson 10
10	テキストLesson 11-12
11	テキストLesson 13-14
12	テキストLesson 15-16
13	テキストLesson 17
14	テキストLesson 18
15	英会話テスト
16	期末試験

【履修上の注意事項】

毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい)

【評価方法】

中間・期末試験 : 70%
 英会話テスト : 20%
 授業への参加度 : 10%

【テキスト】

Tourism English (「観光英語で日本案内」)
 (英宝社、2007)

【参考文献】

特にないが必要時には紹介する。

英語 I

担当教員 長嶺 博

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地環（火金2）、日文（水4土3）

【授業のねらい】

このクラスではリスニングとスピーキングに重点が置かれる。特にリスニングに関し、副教材（プリント教材）の使用では、英語独特の音のつながりに伴うその変化を学習し、ロールプレイ等でその発音練習等を行う。テキスト DISCOVERING JAPAN through TOURISM ENGLISH の使用では、リスニングによる教材の内容理解確認、単語力向上を図る内容や英作文等が加わる。小テスト（クイズ）を5回と、期末試験として、幅教材の会話部分を基にした会話テストを行う予定。尚、週一回は CALL 教室を使用する。

【授業の展開計画】

- | | | | |
|----------------------|----------|----------------------|----------|
| 1 クラス概要説明等 | | 17 DISCOVERING JAPAN | Lesson 7 |
| 2 DISCOVERING JAPAN | Lesson 1 | 18 副教材（プリント教材 7） | |
| 3 副教材（プリント教材 1） | | 19 DISCOVERING JAPAN | Lesson 8 |
| 4 DISCOVERING JAPAN | Lesson 2 | 20 副教材（プリント教材 8） | |
| 5 副教材（プリント教材 2） | | 21 Quiz IV | |
| 6 Quiz I | | 22 At the Movies | |
| 7 DISCOVERING JAPAN | Lesson 3 | 23 Field of Dreams | |
| 8 副教材（プリント教材 3） | | 24 DISCOVERING JAPAN | Lesson 9 |
| 9 DISCOVERING JAPAN | Lesson 4 | 25 副教材（プリント教材 9） | |
| 10 副教材（プリント教材 4） | | 26 副教材（プリント教材 10） | |
| 11 Quiz II | | 27 副教材（プリント教材 11） | |
| 12 DISCOVERING JAPAN | Lesson 5 | 28 Quiz V | |
| 13 副教材（プリント教材 5） | | 29 会話テスト(クラス1/2) | |
| 14 DISCOVERING JAPAN | Lesson 6 | 30 会話テスト(クラス1/2) | |
| 15 副教材（プリント教材 6） | | 31 課題提出・追試等 | |
| 16 Quiz III | | | |

【履修上の注意事項】

【評価方法】

成績は小テスト（クイズ）及び会話テスト等の試験と出席状況、及びクラス活動の参加度等を基に総合的に評価する。

【テキスト】

DISCOVERING JAPAN through TOURISM ENGLISH 「観光英語で日本発見！」（英宝社）

【参考文献】

英語 I

担当教員 新城 知子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 法律（水土1） 産情（水土2）

【授業のねらい】

英語の4領域（聴く、話す、読む、書く）のなかでも、特に聴く・話す学習に重点を置き、コミュニケーション能力を高めることを目標とする。

【授業の展開計画】

第1週 : クラス・オリエンテーション
第2～7週 : VIVA! SAN FRANCISCO Chapter 1～5
第8週 : 中間テスト
第9～14週 : VIVA! SAN FRANCISCO Chapter 6～10
第15週 : 期末テスト

【履修上の注意事項】

週1回のラボ室使用の日には、VIVA! SAN FRANCISCO とLMS フォーラムなどを利用した学習。普通教室においてはQuick-Step Englishを使用してVocabulary, Grammarの強化を図る。「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

【評価方法】

中間、期末試験と3分間スピーチ、授業への積極的参加、及び宿題等を含めて総合的に評価する。

【テキスト】

VIVA! SAN FRANCISCO (MACMILLAN LANGUAGEHOUSE),
Quick-Step English I (NAN'UN-DO)

【参考文献】

英語 I

担当教員 糸数 デビット

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 経済(火金2)、英米(火金1)

【授業のねらい】

The first decade of the 21st century (2001-2010) has been dedicated to health promotion and disease prevention. The entire members of the human race are now working hand-in-hand to promote this massive project entitled "Healthy People 2010". And for Japan and Okinawa, "Healthy Japan 2010", and "Healthy Okinawa 2010", respectively. The goals of "Healthy People 2010" is to increase the quality of healthy life expectancy, longevity(long life).

【授業の展開計画】

【授業のねらい】の続き～

Okinawa Prefecture being the leader of longevity in the world, should improve their health status, and serve as an inspiration to the world.

With this background, I would like to teach basic English content, using basic English textbook entitled, "A Healthy Way of Life" (120 pages). Aside from the topics in the textbook, I will provide a supplementary lecture of my own published research paper (1990) on prevention of disease and promotion of health, entitled: "Man, Healthy Self and You Will Have a Healthy Self"

Topics of discussion:

- | | | |
|------------------|---------------------|--------------------|
| 1. biotechnology | 2. ecology | 3. calorie control |
| 4. balance diet | 5. exercise | 6. weight control |
| 7. smoking | 8. drinking/alcohol | 9. stress, 10. etc |

【履修上の注意事項】

「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

【評価方法】

① Attendance : 33.4% ② Test : 33.3% ③. Class Participation : 33.3%

【テキスト】

① "A Healthy Way of Life" Authors: Gerald Dampier / William Scougall, 120 pages Publisher: Asahi Press
 ② Smart Choice 1A Author: Ken Wilson Publisher: Oxford University Press

【参考文献】

- Inspirational Video
- News that you can use (important current events- local and global on health)

英語 I

担当教員 西原 幹子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

週二回の授業のうち、一回はCALL教室、あとの一回は一般教室にて行います。CALL教室では、Viva! San Francisco の教材をもとにリスニングおよびスピーキングの練習をし、日常会話表現を学んでいきます。一方、教室授業では、英文作成のための基礎的な文法事項を確認し、その知識の定着をはかります。

【授業の展開計画】

<一般教室>

- 1 週目：登録確認、講義説明
- 2 週目：self-introduction
- 3 週～15 週目：英文法の基礎を一項目ずつ確認していく。
 - ・動詞の活用を中心に、単文作成の練習
 - ・知識の定着をはかるために豆テストを定期的に行う

<CALL教室>

- 1 週目：CALLの操作方法について
- 2 週目：ペアレッスンを中心に、self-introduction の表現練習
- 3 週目～15 週目：Viva! San Francisco の教材に沿って、毎週 1 レッスンずつ進む。
 - ・リスニングの練習とペアレッスンによる会話練習
 - ・日常会話に役立つ表現を学ぶ

7 週目：中間試験

16 週目：学期末試験

【履修上の注意事項】

- ・辞書を各自持参してください
- ・ノートを一冊用意してください

【評価方法】

学期末試験の結果により評価します

【テキスト】

プリント教材を配布します

【参考文献】

授業のなかで適宜紹介します

英語Ⅱ

担当教員 カレン ルパードス

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 産情（水土2）、企シ（水土1）

【授業のねらい】

Similar to English I, the basic purpose is to provide students with materials & structured opportunity for learning & using English. The goal is to increase each student's self-confidence in achievement by developing skills of analysis & prediction, and mutually supportive attitudes and expectations. Students will be subjected to the discipline and requirements of job-performance within a class-room situation.

【授業の展開計画】

- 1-2 Introduction of semester plans and procedures; “job-contracting” and establishment of goals and expectations. Assessment consultation (by appointment) if needed.
- 3-11 As planned, Wednesday classess will focus on individual work/study, usually based on reading/writing and listening/speaking. Students will form working-teams of 4-6 members to be self-administrative. Team-duration is expected to be 2-3 weeks before reformation of teams.
Saturday classes will focus on team-based activities, with teams giving presentations or controlling class activities, often with teams in friendly competition with each other.
- 12-14 Assessment consultation (by appointment or during regular class sessions). Some students (primarily those with top-ranking excellent attendance) have the liberty of being “on-leave” during this period.
- 15 Class- and self-evaluation; submission of evidence of accomplishments. Attendance required.

【履修上の注意事項】

Students are expected to be self-reliant, responsible, and mutually supportive. Grades reflect students' demonstrated effort to achieve their own goals & to help others achieve theirs.

【評価方法】

Self- and peer-assessment are fundamental to this course. Students choose the grade they wish to “earn” and receive it only if they fulfill their “contract”.

【テキスト】

To be announced & explained during registration period. (Variable according to students' abilities and self-determined goals.) Most in-class materials are teacher-produced. In principle, students' notebooks and folders become their textbooks.

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 大城 明子

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 1年次対象 地行(水土1)、地環(火金2)

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

英語Ⅰの発展を前提に、大学レベルの英語力の養成と基本的な発信型コミュニケーション力の習得を目指す。週一回のラボ室では、全学教材のViva! San FranciscoのCh11-20をCALLソフトを用いて学習し、他のメディア教材との併用で、多種多様な英語のインプットをはかる。また普通教室では、英語Ⅰで用いた教材を引き続き用いて基礎英語力を向上させて、それを生かして、英語で自ら表現し伝えて意思疎通の図れる力をみにつける。

【授業の展開計画】

(以下Viva!はテキストViva! San Franciscoをさす。週1回はCALL教室での授業となる) 英語基礎力とは、英語Ⅰと同様の大学レベルの英語力(語彙、文法面)の習得とともに、その周辺の能力を学習することである。16週目には、スピーキングテストがあることに注意すること。学習内容の定着を目的とした定期的なテストを実施する。(なお、以下の各回の学習内容は進捗度や使用教室により変更およびずれ等があるので注意すること)

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	英語Ⅱオリエンテーション	17	ラボ室学習Viva!7回目 他
2	英語Ⅰ履修内容の総復習、他	18	英語基礎力養成18 他
3	ラボ室学習Viva!1回目 他	19	ラボ室学習Viva!8回目 他
4	英語基礎力養成12 他	20	英語基礎力養成19 他
5	ラボ室学習Viva!2回目 他	21	ラボ室学習Viva!9回目 他
6	英語基礎力養成13 他	22	英語基礎力養成20 他
7	ラボ室学習Viva!3回目 他	23	ラボ室学習Viva!10回目 他
8	英語基礎力養成14 他	24	英語基礎力養成21 他
9	ラボ室学習Viva!4回目 他	25	Viva!期末点検(テストを含む)
10	英語基礎力養成15 他	26	英語基礎力養成22 他
11	ラボ室学習Viva!5回目 他	27	スピーキングテスト準備
12	英語基礎力養成16 他	28	英語基礎力養成18-22点検(テストを含む)
13	Viva! 中間点検 他	29	スピーキングテスト関連
14	英語基礎力養成17 他	30	スピーキングテスト関連
15	ラボ室学習Viva!6回目 他	31	スピーキングテスト関連
16	英語基礎力養成12-17点検(テストを含む)		

【履修上の注意事項】

○英語Ⅱは原則として英語Ⅰと同じクラスに登録することに注意してください。英語Ⅰ(担当大城)の同曜日同時限に登録し

ていなかった学生が英語ⅡでWeb登録を行っても本英語Ⅱクラスでの登録認めません。○受講に際しては、高校レベル以上の英和と和英辞典は必携です(電子辞書は可) ○語学は能動的に学習してこそ力がつくものです。よってクラスでも能動のおよび積極的に参加してください。○週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する。

【評価方法】

授業への参加、試験、Speech、発表、出席、遅刻、態度などを総合的に評価する。

【テキスト】

1. Viva! San Francisco大八木廣人他マクランゲンゲージハウス(購入必要なし) 2. 英語Ⅰで用いた教科書 3. 講師作成配布のStudy Guide

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 芦峰 隆章

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 企業システム学科（水土2）適用シラバス

【授業のねらい】

この授業では、「読む」、「書く」、「聴く」、「話す」、の英語の四技能を全てバランス良く伸ばすことを目指す。比較的短い英文を多読、速読できるようにする。会話文を英語で書いて口頭で発表しその内容について英語で質疑応答できるようにする。CALL教室ではテキストのリスニングやE-Learning, DVDや英語の歌等の多様な教材を使って、語彙も増やしながらかき取る技能を向上させる。四技能全てが相互的に機能していることを絶えず意識させながら授業を進めていく。

【授業の展開計画】

*学生の理解度を深めるためにテキストの各ユニットが必ずしもページの若い順に進まないことがあるし、ユニットも前後する場合もある。

**テストの期日が予定とは若干ずれる可能性もある。

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	テキストUnit 9
3	テキストUnit 9
4	テキストUnit 10
5	テキストUnit 11
6	テキストUnit 12
7	テキストUnit 12
8	中間試験
9	テキストopenMind 2
10	テキストopenMind 2
11	テキストopenMind 2
12	テキストopenMind 2
13	テキストopenMind 2
14	テキストopenMind 2
15	英会話テスト（ディベート/ディスカッション）
16	期末試験

【履修上の注意事項】

毎回辞書を持参すること。（電子辞書でもよい）

【評価方法】

中間・期末試験 : 70%
 英会話テスト : 20%
 授業への参加度 : 10%

【テキスト】

openMind Student's Book 1
 (MACMILLAN LANGUAGEHOUSE, 2010)

【参考文献】

特にないが必要時には紹介する。

英語Ⅱ

担当教員 新垣 實

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

英語Ⅰに引き続き、英語のspeaking、listeningに関する基礎的な運用能力を養成しその向上を図るとともに、英米の言語習慣や文化などについて学びます。さらに、日本語、英語、沖縄の諺や格言などについて比較し、その文化の類似点・相違点などについて勉強する。

【授業の展開計画】

第1週 Lesson 1
第2週 Lesson 2
第3週 Lesson 3
第4週 Lesson 4
第5週 Lesson 5
第6週 Lesson 6
第7週 Lesson 7
第8週 Lesson 8
第9週 Lesson 9
第10週 Lesson10
第11週 Lesson11
第12週 Lesson12
第13週 Lesson13
第14週 Lesson14
第15週 Lesson15
第16週 まとめ

【履修上の注意事項】

1. 英語辞典を必ず持参すること。 2. 遅刻をしないこと。 3. 無断欠席をしないこと。 4. 居眠りをしないこと。 5. 携帯電話の電源を切ること。 6. 私語をしないこと（私語をすると即退室）。

【評価方法】

毎回ペアで対話発表や個人発表をしてその都度評価するとともに、受講態度、宿題、出欠などを総合的に勘案し評価する。

【テキスト】

プリント教材などを準備する。

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 糸数 ジュニヨール テビット

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 経済(火金2)、英米(火金1)

【授業のねらい】

The first decade of the 21st century (2001-2010) has been dedicated to health promotion and disease prevention. The entire members of the human race are now working hand-in-hand to promote this massive project entitled "Healthy People 2010". And for Japan and Okinawa, "Healthy Japan 2010", and "Healthy Okinawa 2010", respectively. The goals of "Healthy People 2010" is to increase the quality of healthy life expectancy, longevity (long life).

【授業の展開計画】

【授業のねらい】の続き～

Okinawa Prefecture being the leader of longevity in the world, should improve their health status, and serve as an inspiration to the world.

With this background, I would like to teach basic English content, using basic English textbook entitled, "A Healthy Way of Life" (120 pages). Aside from the topics in the textbook, I will provide a supplementary lecture of my own published research paper (1990) on prevention of disease and promotion of health, entitled: "Man, Healthy Self and You Will Have a Healthy Self"

Topics of discussion:

- | | | |
|------------------|---------------------|---------------------|
| 1. biotechnology | 2. ecology | 3. calorie control |
| 4. balance diet | 5. exercise | 6. weight control |
| 7. smoking | 8. drinking/alcohol | 9. stress, 10. etc. |

【履修上の注意事項】

「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

【評価方法】

- ① Attendance : 33.4% ② Test : 33.3% ③. Class Participation : 33.3%

【テキスト】

- ① "A Healthy Way of Life" Authors: Gerald Dampier / William Scougall, 120 pages Publisher: Asahi Press ② Smart Choice 1A Author: Ken Wilson Publisher: Oxford University Press

【参考文献】

- Inspirational Video
- News that you can use (important current events- local and global on health)

英語Ⅱ

担当教員 新城 知子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 法律（水土1）、産情（水土2）

【授業のねらい】

英語学習の4領域（聴く、話す、読む、書く）のうち、聴く、話すを中心に学習する。
インプットを強化することにより、アウトプットへの橋渡しを準備する。

【授業の展開計画】

- 第1週 : オリエンテーション
- 第2週～6週 : Viva! San Francisco Chapters 11～15
- 第7週 : まとめ及び中間試験
- 第8週～12週 : Viva! San Francisco Chapters 16～20
- 第13週～16週 : まとめ及び期末試験

【履修上の注意事項】

「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

【評価方法】

中間試験、期末試験、グループ・プレゼンテーション、宿題、授業への積極的参加等を含め総合的に評価する。

【テキスト】

Viva! San Francisco (MACMILLAN LANGUAGEHOUSE)
Quick-Step English II (NAN'UN-DO)

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 野口 正樹

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次 対象 英米（火金1）

【授業のねらい】

本講義は、warm-up 終了後、課題である暗唱例文の practice を pairで行います。続いて、quick response に移ります。それから、語法・文法に関する質疑応答を英語または日本語で実践します。後半は、group に分かれ、暗唱英文に基づいた skit 作成に取り組みます。homework assignment の活用を奨励します。その後 group 毎に英語による acting out を行います。

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

- ① 受講予定者は、講義初日の orientation に必ず参加し、内容・方法を理解することが履修の前提です。
- ② 無断遅刻・欠席・退出は一切認められません。正当な理由がある場合は、事前に必ず mail 連絡下さい。
- ③ 課題 skit は、講義日前日の 9:00 PM までに mail で提出します。
- ④ 携帯電話の電源は切っておきましょう。また、textbook 及び辞書、筆記用具は必須です。
- ⑤ 講義内での私語及び居眠り・他者への迷惑行為等は問題外になります。

【評価方法】

- ① 授業出席度（原則皆勤）
- ② quick response / debate
- ③ 英語の理解と運用
- ④ 質疑応答
- ⑤ 課題
- ⑥ 受講姿勢

【テキスト】

講義内で連絡します。

【参考文献】

講義内で別途配布または連絡します。

英語Ⅱ

担当教員 糸数 淳子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

総合的な英語力（読む・聴く・書く・話す）のスキルのうち、特にリスニング力とスピーキング力とを伸ばす訓練を行います。又、学生が既に馴染みのあるコンテンツ（日本の歴史や社会等）を英語で聴いて読む訓練をすることで身近な興味のある話題を英語で理解し表現できるようになる事を目標とします。

【授業の展開計画】

*毎週火曜日の講義では与えられた教材に関する音声を聴き、語彙を把握し、内容を理解する練習を行います。音声に関してはディクテーション演習、内容理解に関してはQ&Aにより成果を把握する。
*毎週金曜日はラボ室にて Viva San Franciscoを自己学習。毎回授業終了時間までに自分のロールを決め台本なしにすらすら台詞がいえるようになるまで練習し、発表を行う。その日に合格できない場合は次の授業の際に再度チャレンジ可能。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	後期オリエンテーション	17	Viva! San Francisco Ch.14-16復習
2	Viva! San Francisco Ch. 11	18	講義8
3	講義1	19	Viva! San Francisco Ch. 17
4	Viva! San Francisco Ch. 12	20	講義9
5	講義2	21	Viva! San Francisco Ch. 18
6	Viva! San Francisco Ch. 13	22	講義10
7	講義3	23	Viva! San Francisco Ch. 17-18復習
8	Viva! San Francisco Ch. 11-13復習	24	講義11
9	講義4	25	Viva! San Francisco Ch. 19
10	Viva! San Francisco Ch. 14	26	講義12
11	講義5	27	Viva! San Francisco Ch. 20
12	Viva! San Francisco Ch. 15	28	講義13
13	講義6	29	Viva! San Francisco Ch. 19-20復習
14	Viva! San Francisco Ch. 16	30	講義14
15	講義7	31	期末まとめテスト(講義8-14)
16	中間まとめテスト（講義1-7）		

【履修上の注意事項】

*金曜日のラボ室での演習は毎回授業終了までにスキットの暗唱テストがあります（中間、期末テストは無いので、日々の成果が期末の成績に直接反映されます）
*火曜日の講義は中間・期末テスト以外に、日々実施するディクテーションやQ&A等が最終評価の対象に含まれません。
*毎回、英和辞典を授業に持参して下さい。

【評価方法】

火曜日の講義のみ中間、期末テストを実施（日々のディクテーションやQ&Aも評価の対象）金曜日のViva San Franciscoを用いた講義は日々のスキット暗唱テストの合否を主として評価。最後にクラスのアクティビティ（発言力等）の際の貢献度、出席率等も評価の対象となります。

【テキスト】

1. Viva San Francisco（ラボ室利用のためテキスト購入不要）
2. ハンドアウト

【参考文献】

必要に応じて紹介

英語Ⅱ

担当教員 長嶺 広美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地行（水土1）、企シ（水土2）

【授業のねらい】

英語Ⅰに引き続き、ListeningとSpeakingを中心に総合的な英語学習を通じて、コミュニケーション能力を高めることを目標とする。

【授業の展開計画】

第1週 : Introduction to the class

第2～7週 : Viva! San Francisco Chap 11～15

第8週 : 中間テスト

第9～14週 : Viva! San Francisco Chap 16～20

第15週 : 期末テスト

【履修上の注意事項】

週2回のクラスの1回をCall 教室でViva! San Francisco を使用し、もう1回は普通教室でサブ・テキスト（未定）を使用してListeningとSpeakingに焦点を置いて授業を進める。プレゼンテーション等学生主体のクラスとしていくので、積極的なクラス参加を望む。3分の1以上の欠席者は単位を認めない。また、遅刻3回で1回の欠席とみなす。

【評価方法】

授業貢献度 10% クイズ 30%
プレゼンテーション 20% 中間・期末試験 40%

【テキスト】

Viva! San Francisco（購入の必要はありません）サブ・テキスト（未定・教室にて指定します）
辞書は必ず携帯すること。

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 西原 幹子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

週二回の授業のうち、一回はCALL教室、あとの一回は一般教室にて行います。CALL教室では、Viva! San Francisco の教材をもとにリスニングおよびスピーキングの練習をし、日常会話表現を学んでいきます。一方、教室授業では、英文作成のための基礎的な文法事項を確認し、その知識の定着をはかります。

【授業の展開計画】

<一般教室>

- 1週目：登録確認、講義説明
- 2週目：前期に学んだ事項の再確認
- 3週～15週目：前期に引き続き、英文法の基礎を一項目ずつ確認していく。
 - ・「～だから」「～とき」などの英文作成の練習
 - ・知識の定着をはかるために豆テストを定期的に行う

<CALL教室>

- 1週目：発音練習①
- 2週目：発音練習②
- 3週目～15週目：前期に引き続き、Viva! San Francisco の教材に沿って、毎週1レッスンずつ進む。
 - ・リスニングの練習とペアレッスンによる会話練習
 - ・日常会話に役立つ表現を学ぶ

7週目：中間試験

16週目：学期末試験

【履修上の注意事項】

- ・原則として、「英語Ⅰ」と同じ担当者のクラスに登録してください。
- ・辞書を各自持参してください
- ・ノートを一冊用意してください

【評価方法】

学期末試験の結果により評価します

【テキスト】

プリント教材を配布します

【参考文献】

授業のなかで適宜紹介します

英語Ⅱ

担当教員 一仲宗根 朋美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（月木5）

【授業のねらい】

英語Ⅰ同様、CALL教室で、コンピュータソフトウェア教材Viva! San Francisco を用いて基本的なリスニングとスピーキング能力の養成を図ると同時に、別途指定された教科書を学習していく中で、リスニングの補強及び基礎的な文法力をつけていくことを目標とする。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Viva! San Francisco Chapter 11～15	17	Viva! San Francisco Chapter 16～20
2	Viva! San Francisco Chapter 11～15	18	Viva! San Francisco Chapter 16～20
3	Viva! San Francisco Chapter 11～15	19	Viva! San Francisco Chapter 16～20
4	Viva! San Francisco Chapter 11～15	20	Viva! San Francisco Chapter 16～20
5	Viva! San Francisco Chapter 11～15	21	Viva! San Francisco Chapter 16～20
6	Viva! San Francisco Chapter 11～15	22	Viva! San Francisco Chapter 16～20
7	Viva! San Francisco Chapter 11～15	23	Viva! San Francisco Chapter 16～20
8	Viva! San Francisco Chapter 11～15	24	Viva! San Francisco Chapter 16～20
9	Viva! San Francisco Chapter 11～15	25	Viva! San Francisco Chapter 16～20
10	Viva! San Francisco Chapter 11～15	26	Viva! San Francisco Chapter 16～20
11	Viva! San Francisco Chapter 11～15	27	Viva! San Francisco Chapter 16～20
12	Viva! San Francisco Chapter 11～15	28	Viva! San Francisco Chapter 16～20
13	Viva! San Francisco Chapter 11～15	29	Viva! San Francisco Chapter 16～20
14	Viva! San Francisco Chapter 11～15	30	Viva! San Francisco Chapter 16～20
15	Viva! San Francisco Chapter 11～15	31	期末テスト
16	中間テスト		

【履修上の注意事項】

教科書は、必ず購入して、辞書を授業に持ってくる（電子辞書可）。
30分以上遅刻した場合は、欠課とみなし、遅刻3回で1回の欠課とする。
10回以上欠課した場合は、単位を与えない。

【評価方法】

中間テスト、期末テストの結果に授業参加・貢献度を加味し、総合評価を決定する。

【テキスト】

1. Viva! San Francisco (MACMILLAM LANGUAGEHOUSE) ラボ室ソフト教材のため、購入の必要はない。
2. Forerunner to Powr-Up English (南雲堂) 受講者全員、必ず購入すること。

【参考文献】

特にないが、必要な際には、授業で適宜紹介する。

英語Ⅱ

担当教員 奥間 隆伸

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

英語Iに引き続き、英語のspeaking, listening, reading, writing に関する基礎的な運用能力の養成及び向上を目指す。そのため週2回の授業の中、1回はCALL教室において英語I・II指定教科書：Viva! San Franciscoを使い日常の英会話習得とアメリカ文化に対する理解を深める。あとの1回は普通教室において別の教科書やプリントを使って、基礎的なリスニング・スピーキング力の向上を目指します。授業では個人、ペアワーク、グループワークを通じて積極的に英語に触れ、使っていく。

【授業の展開計画】

CALL教室においては、コンピューター化された教材：Viva! San Francisco を使用し英語の基礎的な4技能（リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング）の習得と向上を目指す。テキストはPart2の部分：Chapter11-20を学習していく。その際、個人、ペアワーク、クラス全体での活動を行ないます。通常教室においては、教科書（英語Iで使用したもの）のUnit 8-15やプリントを使って基礎的なリスニング・スピーキング力の向上に努める。そのため、受講者は積極的に授業に参加することが求められます。レッスン毎に単語や重要表現に関するテストをおこなう。

第1週： 講義の概要説明介

第2週～第7週： 各課の学習

第8週： 中間試験

第9週～第15週： 各課の学習

第16週： 期末試験

【履修上の注意事項】

1. 積極的に授業に参加してください。特にCALL教室では、自主的、意欲的な学習態度が必要です。
2. 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。
3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。
4. 教室では携帯電話の電源を切ること。
5. 遅刻、居眠り、私語、携帯電話の使用などは授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。

【評価方法】

出席点25%、平常点25%（宿題・小テスト・レポート・授業への参加度）、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。

総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。
また遅刻3回で欠席1回とみなします。

【テキスト】

- ①Viva! San Francisco Hiroto Ohyagi & Timothy Kiggell MACMILLAN LANGUAGEHOUSE 2000円(税別)
- ②On Air Listen and Communicate, Graeme Todd, Roger Palmer, 加野まきみ 金星堂 2100円(税別)を使用予定

【参考文献】

必要に応じて授業で配布します。

英語Ⅱ

担当教員 山川 満夫

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 法律（水土1）、経済（火金2）、社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

英語Ⅰの発展として、さらにスピーキング力とリスニング力の育成を中心に、総合的な英語力のレベルアップを図り、英語による自己表現活動の育成に力を入れます。週1回のCALL教室では、英語Ⅰに引き続き全学教材のViva! San FranciscoのCh. 11～20を学習し、英会話力アップを目指します。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	英語Ⅱオリエンテーション	17	Viva! San Francisco Ch.17他
2	英語Ⅰの総復習	18	英語の基礎力養成20
3	Viva! San Francisco Ch.11	19	Viva! San Francisco Ch.18他
4	英語の基礎力養成14	20	英語の基礎力養成21
5	Viva! San Francisco Ch.12他	21	Viva! San Francisco Ch.19他
6	英語の基礎力養成15	22	英語の基礎力養成22
7	Viva! San Francisco Ch.13他	23	Viva! San Francisco Ch.20他
8	英語の基礎力養成16	24	英語の基礎力養成23
9	Viva! San Francisco Ch.14他	25	Viva! Ch.16～20総まとめ
10	英語の基礎力養成17	26	英語の基礎力養成24
11	Viva! San Francisco Ch.15他	27	インタビューテスト準備
12	英語の基礎力養成18	28	英語の基礎力養成25
13	Viva! Ch.11～15総まとめ	29	インタビューテスト（1）
14	英語の基礎力養成19	30	インタビューテスト（2）
15	Viva! San Francisco Ch.16他	31	英語の基礎力養成20～25（期末点検）
16	英語の基礎力養成14～19（中間点検）		

【履修上の注意事項】

(1) 中間・期末テストの他に、スピーチテスト・インタビューテストを実施します。(2) 遅刻・早退は2回につき1回の欠席とみなします。また、総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価が「不可」となります。(3) 毎回、英和辞典を授業に持参することが望ましいです。(4) 宿題が出されるときには、確実に提出して下さい。(5) 大学指定のクラスへの登録となりますので注意してください。本クラスに指定されていない学生はWeb登録しても、実際の登録は認められません。

【評価方法】

①出席状況や授業態度、②発言回数、③スピーチテスト、④インタビューテスト、⑤中間・期末テスト、⑥提出課題、の結果を総合的に判断して評価する。

【テキスト】

1. Viva! San Francisco（ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし）
2. 講師指定の教科書（オリエンテーション時に連絡する。）

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 松田 順子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地環（火金2）

【授業のねらい】

英語の4領域（聴く、話す、読む、書く）に於ける総合的な学習を通じて、コミュニケーション能力を高めることを目標とする。

【授業の展開計画】

第1～7週 : VIVA! SAN FRANCISCO Chapter 11～16 テキスト Unit 7～10
第8週 : 中間テスト
第9～12週 : VIVA! SAN FRANCISCO chapter 17～20 テキスト Unit 11～12
第13～14週 : Performance (Group presentation)
第15週 : 期末テスト

【履修上の注意事項】

ラボ室では、VIVA! SAN FRANCISCO と映画の短いシーンを活用しての聴く学習を中心に進め、教室では、配布されるハンドアウトをもとに、英語圏の文化についての理解を深めたり、会話に必要な表現を学ぶことができるよう、共に工夫する。受講生はペアを組んで練習をすることを拒まず、意欲的に参加することが求められる。毎週作文を書くことで、文法事項を確認する。私語などによって他の受講生の学習の妨げをすることを慎むこと。
*週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する

【評価方法】

授業への参加姿勢・貢献度（質問など）、ペアを組んでのパフォーマンス、及びテストを総合的に評価する。

【テキスト】

*毎回ハンドアウトを配布する。
*Viva! San Franciscoを購入する必要はない。

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 富里 明美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 産情(水土2)、日文(水4土3)

【授業のねらい】

英語でのコミュニケーション能力を向上させるため、「聴く」「話す」「読む」「書く」の4技能を養成する。週2回のクラスのうち1回はCALL教室を使用する。教室での講義は、下記テキストを使用する予定である。

語学の学習においては、学生が積極的に参加し、発言することが重要だと考えるため、下記「評価方法」の中に「講義への貢献度」の項目を設けた。講義に出席し、Volunteer point の取得を頑張ってください。

【授業の展開計画】

1週目:オリエンテーション

2週目:Viva! San Francisco: Chapter 11 (Quiz 1)

3週目: " " : Chapter 12 (Quiz 2)

4週目: " " : Chapter 13 (Quiz 3)

5週目: " " : Chapter 14 (Quiz 4)

6週目: " " : Chapter 15 (Quiz 5)

7週目: " " : Chapter 11-15まとめ

8週目:中間テスト

9週目: Viva! San Francisco: Chapter 16 (Quiz 6)

10週目: " " : Chapter 17 (Quiz 7)

11週目: " " : Chapter 18 (Quiz 8)

12週目: " " : Chapter 19 (Quiz 9)

13週目: " " : Chapter 20 (Quiz 10)

14週目: " " : Chapter 16-20まとめ

15週目:期末テスト

【履修上の注意事項】

1. 出席は毎回確認し、出席時数が2/3に満たない学生は単位取得対象にならないので注意すること。
2. 毎回講義には英語辞典(少なくとも英和辞典)を持参すること。電子辞書も可。
3. 欠席届は必ず提出すること。
4. 出席状況および受講態度を重視する。

【評価方法】

中間テスト(テキスト等より出題):20% 期末テスト(テキスト等より出題):20%

クイズ(Viva より出題):20%

課題・提出物:20%

講義への貢献度:10%

出席:10%

【テキスト】

Step Up to Better English 「日英おもしろ文化比較」 朝日出版社 ¥1,700

【参考文献】

特になし。オーラルレッスン用および英作文用等の追加教材は、随時プリントを配布する。

英語Ⅱ

担当教員 芦峰 隆章

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 日本文化学科（水4土3）適用シラバス

【授業のねらい】

この授業では、「読む」、「書く」、「聴く」、「話す」、の英語の四技能を全てバランス良く伸ばすことを目指す。1グループでテキストの1ユニットの英文を和訳してその内容について英語でディベート/ディスカッションしてもらい、英語での質疑応答ができるようにする。英文を日本語または英語で要約する技能も訓練する。週1回あるCALL教室での授業では、テキストにあるDICTATIONや、E-Learning、DVDや英語の歌等の多様な教材を使って、語彙も増やしながらか聴き取る技能を向上させる。

【授業の展開計画】

*学生の理解度を深めるためにテキストの各ユニットが必ずしもページの若い順に進まないことがあるし、ユニットも前後する場合もある。

**テストの期日が予定とは若干ずれる可能性もある。

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	テキストUnit 1
3	テキストUnit 1
4	テキストUnit 2-3
5	テキストUnit 4-5
6	テキストUnit 6
7	テキストUnit 7
8	中間試験
9	テキストLesson 8
10	テキストLesson 9-10
11	テキストLesson 11-12
12	テキストLesson 13
13	テキストLesson 14
14	テキストLesson 15
15	英会話テスト（ディベート/ディスカッション）
16	期末試験

【履修上の注意事項】

毎回辞書を持参すること。（電子辞書でもよい）

【評価方法】

中間・期末試験 : 70%
英会話テスト : 20%
授業への参加度 : 10%

【テキスト】

Amazing Japan（「ジャパントイムズで日本を読む」）
（朝日出版社、2013）

【参考文献】

特にないが必要時には紹介する。

英語Ⅱ

担当教員 一ツヨウソ ターハート

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 英米 (火金1)

【授業のねらい】

This class is designed to help students improve the four skills of reading, writing, listening and speaking, with a focus on listening and speaking. The class will include a variety of pair and group activities to develop conversational skills.

【授業の展開計画】

English II will cover the second half of the text, Marathon Mouth. In addition, other materials will be used to expand on and reinforce what is covered in the text.

【履修上の注意事項】**【評価方法】**

The final grade will be based on homework, tests, quizzes, attendance, participation, interviews and presentations to be made in class.

【テキスト】

Marathon Mouth (Intercom Press) will be used, as well as supplementary materials that will be provided by the instructor.

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 真喜志 満

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地行(水土1)

【授業のねらい】

英語Ⅰに比べて、全体的に文章が少し長くなる。前期同様、普通教室での授業は、「つぶやき英語トレーニング(七田 真監修)」の手法を用いて、基礎的な英語表現を、考えなくても自然に口をついて出てくるようになるまで演習を行い、翌週に小テストで確認を行う。CALL教室での授業は、ITを活用して、既存の教材“Viva! San Francisco”と洋楽を導入、活用して、ヒアリングとスピーキングの技能を高めるよう演習し、さらにITによる小テストで習得の確認を行う。英語が苦手な人でも、「音楽療法」を取り入れることで、少しでも英語を無理なく楽しく学べ、同時に異文化への関心も高めてもらうのがコースの狙いである。学期末には実力テストも行う。

【授業の展開計画】

前期同様週1回は、普通教室で「つぶやき英語トレーニング」のテキストを使って、各場面の英語表現を暗記する作業を中心に行う。まず、英語を聞いて、和訳で状況のイメージをつかみ、その後英語表現の理解と習得に努め、音読、ディクテーションなどを行っていき、最終的に暗記できるまで演習を行う。そしてその結果、どれだけ暗記できたかを確認する小テストを翌週に実施する。Scene1, 9, 16, , 23, 24, 26, 29, 32, 37, 43, 44, 47を順に学習していく。

別の日の週1回は、“VIVA SANFRANCISCO”をChapter11から順にCALL教室のシステムを活用して演習していくが、授業では全文の解釈や注釈にとどめ、具体的な練習問題とその解答の確認やその他の練習は、各自宿題として自主学習するものとする。またCALL教室では、専用サーバーに用意した洋楽教材を活用して、詩の解釈や注釈を行い、各アーティストが歌う音楽を鑑賞する。ただその際、音楽を聴いて楽しむだけではなく、詩を暗記する努力や、ヒアリングを向上させる努力、また発音やイントネーションの矯正など必要な学習や演習を忘れてはならない。また、洋楽についても、翌週どこまで習得・記憶できたかを試す小テストをシステムを使って行う。また、歌いやすい洋楽については、一緒に口ずさんで練習し、グループで歌の練習の成果を発表させることもある。

学期末には、実力テストを実施する。これにより入学時にプレテストにより計測した英語力が一年後にどれだけ伸びたかを計測し、一番伸びた学生の改善点を100として各学生の改善点を評価する。間違っても実力の差がマイナスとなつては、大学で英語を1年間学んだ意味がなくなるので、普段から自分なりに英語を習得し、実力を上げていく努力が望まれる。

【履修上の注意事項】

公休日や休校、その他特別な事情で、同じ曜日が連続する場合があるので、講義内容や小テストの日程などを間違えないよう準備すること。欠席する学生は、できる限り事前に所定の欠席届を提出すること。急な病欠などは仕方がないので、翌週までに医療機関にかかったことを証明する書面をコピーして欠席届に添付して提出すること。それ以外は、「病欠」とは認められない。「公欠」についても、必ず顧問の教官から出された書面を添付して提出すること。出欠は授業開始と同時に取るので、遅刻をしないよう心がけること。

【評価方法】

出席10%、小テスト(つぶやき英語)25%、小テスト(洋楽)35%、宿題(Viva SFの自主学習)20%、実力テスト10%、その他+/-5%。なお、「その他」とは授業態度や授業への貢献度などが総合的に加味される評価である。

【テキスト】

「超右脳つぶやき英語トレーニング」七田真監修、登内和夫・Elizabeth Townsend・Terri-anne Sole著(総合法令出版株式会社)

【参考文献】

英和・和英・英英辞典、英文法書、あるいは電子辞書やインターネット上の文献・ホームページなど

英語Ⅱ

担当教員 小橋川 里美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 法律(水土1)

【授業のねらい】

教科書は「Homestay Adventures」、Listeningとspeakingを中心に学びます。教科書は前期からの継続で、後半部分のUnits7-12をカバーする。日常生活レベルの英語を聞いて理解し、自分の言いたいことを英語で的確に表現できるようにする。英語母語話者の会話やインタビューの映像を見ながら、英語スクリプトに日本語字幕を入れる作業を通して、より自然な英語表現に触れ学んでほしい。中間・期末試験、会話の暗唱テスト、Listening Quiz, そして1年の集大成として、自分の興味あるものを調べて英語でプレゼンテーションしてもらおう(一人3分程度)。

【授業の展開計画】

教科書は前期と同じものを使用し、後半部分を学びます。

週2回の授業のうち、1回はラボ教室です。

ユニット毎に、暗唱テスト、Listening Quiz, 日本語字幕入れがあります。

以下のスケジュールは変更する場合があります。

詳細は最初の授業のときに説明します。

週	授 業 の 内 容
1	Introduction, Unit 7
2	Unit 7
3	Unit 8
4	Unit 8
5	Unit 9
6	Unit 9, Unit 10
7	Midterm Examination (Units 7-9)
8	Unit 10
9	Unit 11
10	Unit 11, Unit 12
11	Unit 12
12	Presentation準備
13	Presentation準備
14	Presentation準備, Presentation (1)
15	Presentation (2), Presentation (3)
16	Final Examination (Units 10-12)

【履修上の注意事項】

辞書を持参。出席に関しては、遅刻3回で一回の欠課(欠席扱い)とみなします。欠課が10回になると、単位はありません。

【評価方法】

出席状況+授業への参加姿勢・・・・・・・・・・10%

暗唱テスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・10%

Listening Quiz・・・・・・・・・・・・・・・・・・10%

英語presentation・・・・・・・・・・・・・・25%

中間試験・期末試験・・・・・・・・・・・・・・45%

【テキスト】

・Homestay Adventures (Macmillan Languagehouse)

【参考文献】

特になし

英語Ⅱ

担当教員 中根 佳

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）、経済（火金2）

【授業のねらい】

基本的なねらいは英語Iと同じ。コミュニケーション能力の向上を目指す。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	クラスの概要説明	17	CALL
2	テキスト、ハンドアウトの紹介、配布	18	通常の授業
3	通常の授業	19	CALL
4	CALL	20	通常の授業
5	通常の授業	21	CALL
6	CALL	22	通常の授業
7	通常の授業	23	CALL
8	CALL	24	通常の授業
9	通常の授業	25	CALL
10	CALL	26	通常の授業
11	通常の授業	27	CALL
12	CALL	28	通常の授業
13	通常の授業	29	CALL
14	CALL	30	復習
15	通常の授業	31	期末試験
16	中間試験		

【履修上の注意事項】

週一回はCALL教室で指定のテキストを使用して行う。授業への積極的参加が要求される。

【評価方法】

中間および期末試験の成績と積極的な授業参加

【テキスト】

開講時に紹介する。

【参考文献】

ハンドアウトの形で配布する。

英語Ⅱ

担当教員 宮平 勝行

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次 経済・環境・企シ・産情（月木5）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 赤嶺 ゆかり

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（月木5）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 長嶺 博

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地環（火金2）、日文（水4土3）

【授業のねらい】

このクラスではリスニングとスピーキングに重点が置かれる。特にリスニングに関し、副教材（プリント教材）の使用では、英語独特の音のつながりに伴うその変化を学習し、ロールプレイ等でその発音練習等を行う。テキスト DISCOVERING JAPAN through TOURISM ENGLISH の使用では、リスニングによる教材の内容理解確認、単語力向上を図る内容や英作文等が加わる。小テスト（クイズ）を5回と、期末試験として幅教材の会話部分を基にした会話テストを行う予定。尚、週一回は CALL 教室を使用する。

【授業の展開計画】

- | | | |
|--------------------------------|----------------------|-----------|
| 1 クラス概要説明等 | 17 DISCOVERING JAPAN | Lesson 16 |
| 2 DISCOVERING JAPAN Lesson 10 | 18 副教材（プリント教材 18） | |
| 3 副教材（プリント教材 12） | 19 DISCOVERING JAPAN | Lesson 17 |
| 4 DISCOVERING JAPAN Lesson 11 | 20 副教材（プリント教材 19） | |
| 5 副教材（プリント教材 13） | 21 Quiz IV | |
| 6 Quiz I | 22 ABCDJ | |
| 7 DISCOVERING JAPAN Lesson 12 | 23 Stand By Me | |
| 8 副教材（プリント教材 14） | 24 DISCOVERING JAPAN | Lesson 18 |
| 9 DISCOVERING JAPAN Lesson 13 | 25 副教材（プリント教材 20） | |
| 10 副教材（プリント教材 15） | 26 副教材（プリント教材 21） | |
| 11 Quiz II | 27 副教材（プリント教材 22） | |
| 12 DISCOVERING JAPAN Lesson 14 | 28 Quiz V | |
| 13 副教材（プリント教材 16） | 29 会話テスト(クラス1/2) | |
| 14 DISCOVERING JAPAN Lesson 15 | 30 会話テスト(クラス1/2) | |
| 15 副教材（プリント教材 17） | 31 課題提出・追試等 | |
| 16 Quiz III | | |

【履修上の注意事項】

【評価方法】

成績は小テスト（クイズ）及び会話テスト等の試験と出席状況、及びクラス活動の参加度等を基に総合的に評価する。

【テキスト】

DISCOVERING JAPAN through TOURISM ENGLISH 「観光英語で日本発見！」（英宝社）

【参考文献】

英語Ⅲ

担当教員 山城 莉乃

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）、全学科（火金1）

【授業のねらい】

英語のReading and Writingを通して読解力と英作文を練習します。テキストの他に、やさしい生きた英語教材の20冊読破を目指します。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	自己紹介を書く練習
2	Unit 1 講読と作文練習
3	Unit 1 and 2 同上
4	Unit 2 and 3 同上
5	Unit 3 and 4 同上
6	Unit 4 and 5 同上
7	Unit 5 and 6 同上
8	Unit 6 and 7 同上
9	Unit 7 and 8 同上
10	Unit 8 同上
11	注 テキストの進み具合と学生との調整により、小テストを数回行います。
12	
13	
14	
15	期末テスト
16	英作文提出最終日

【履修上の注意事項】

1. 遅刻、欠席はしないようにしてください。欠席届は必ず提出すること。
2. 授業中のおしゃべりは講義妨害のため、退室を命じます。
3. 毎時間英作文を提出しますので、辞書を持参のこと

【評価方法】

テスト40%＋英作文40%＋課題多読20%＝100%＋受講態度

但し、欠席が三分の一の場合は、学則により自動的に評価は「不可」となります。
優80～100点、良70～79点、可60～69点、不可59点以下

【テキスト】

The World Watches Japan 編著者 竹村 日出男 南雲堂 2012

【参考文献】

英語Ⅲ

担当教員 渡久山 幸功

対象学年 2年

単位区分 選択

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（火金1）

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

アメリカ青少年文学の古典作品を講読し、文法重視の読解ではなく、英語の文章を多く読み、常識と想像力を駆使して、英語の文脈を理解しながら英文の大意をつかむ練習をします。テキスト以外にも英字新聞記事、環境問題関連の書籍の多読を通し、基本的な文法と語彙力の習得を目指します。講義で取り上げるリーディング教材や映画・音楽を通して得た知識を用いて、英語対話の運用能力を鍛える訓練をします。映画や音楽の歌詞に関する英文エッセイを書くことで英語による自己表現の訓練を行います。

【授業の展開計画】

*講義の進度によって、講義予定に変更がある場合もあります。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Class Orientation Newspaper Articles	17	English Songs
2	Newspaper Articles (reading & listening)	18	The Outsiders Chapter 8
3	The Outsiders Chapter 1	19	English Songs
4	Newspaper Articles (reading & listening)	20	The Outsiders Chapter 9
5	The Outsiders Chapter 2	21	Film West Side Story (1957)
6	Newspaper Articles (reading & listening)	22	The Outsiders Chapter 10
7	The Outsiders Chapter 3	23	English Songs
8	Newspaper Articles (reading & listening)	24	The Outsiders Chapter 11
9	The Outsiders Chapter 4	25	English Songs
10	Film Rebel Without a Cause (1955)	26	The Outsiders Chapter 12
11	The Outsiders Chapter 5	27	Film The Dead Poets Society (1988)
12	Newspapers Articles (reading & listening)	28	The Outsiders Review 1
13	The Outsiders Chapter 6	29	The Outsiders Review 2
14	The Outsiders Chapter 1-6 Review for MTE	30	The Outsiders Film Version (1982)
15	Mid-term Exam (Chapter 1-6)	31	Final Exam (The Outsiders Open-book exam)
16	The Outsiders Chapter 7		

【履修上の注意事項】

(1) 遅刻や私語は厳禁。講義中の居眠りは欠席となる。(2) 講義中、携帯電話は電源を切ること。辞書としての携帯電話使用不可。(3) 講義中、教室を出入りする際は必ず講師に許可を得ること。(4) 講義には毎回辞書、テキスト、筆記用具を持参すること。(5) 毎講義前まで講読予習をすること。毎回予習クイズあり。(6) 期末試験はopen-book examなので、テキストの購入必須。(7) 英文エッセイや課題を書籍、インターネット、その他から剽窃した場合、不可とする。

【評価方法】

- ・課題（英文エッセイなど）20%、クイズ20%、
- ・中間テスト(open-book test) 30%、期末テスト(open-book exam) 30%。
- ・80点以上 優、70-79点 良、60-69点 可、59点以下 不可。
- ・留意点：授業回数の3分の1以上（10回）欠席すると、文部科学省の規則により自動的に不可となります。

【テキスト】

S. E. Hinton. The Outsiders (1967). Speak (Penguin Group), 1995. 1,000円
Handouts (Newspaper Articles)

【参考文献】

Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English

英語Ⅲ

担当教員 赤嶺 ゆかり

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅲ

担当教員 糸数 淳子

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次 全学科（火金2）

【授業のねらい】

英語読解の基礎を養成する。英語の基本構文を習得し、パラグラフリーディングに習熟させる。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Orientation & Skill Check	17	Story13/ Vocabulary/ Comprehension Ex
2	Introduction to Basic Reading Skills	18	Story14/ Vocabulary/ Comprehension Ex
3	Story1/ Vocabulary/ Comprehension Ex	19	Story15/ Vocabulary/ Comprehension Ex
4	Story2/ Vocabulary/ Comprehension Ex	20	Story16/ Vocabulary/ Comprehension Ex
5	Story3/ Vocabulary/ Comprehension Ex	21	Story17/ Vocabulary/ Comprehension Ex
6	Story4/ Vocabulary/ Comprehension Ex	22	Story18/ Vocabulary/ Comprehension Ex
7	Story5/ Vocabulary/ Comprehension Ex	23	Story19/ Vocabulary/ Comprehension Ex
8	Story6/ Vocabulary/ Comprehension Ex	24	Story20/ Vocabulary/ Comprehension Ex
9	Story7/ Vocabulary/ Comprehension Ex	25	Story21/ Vocabulary/ Comprehension Ex
10	Story8/ Vocabulary/ Comprehension Ex	26	Story22/ Vocabulary/ Comprehension Ex
11	Story9/ Vocabulary/ Comprehension Ex	27	Story23/ Vocabulary/ Comprehension Ex
12	Story10/ Vocabulary/ Comprehension Ex	28	Story24/ Vocabulary/ Comprehension Ex
13	Story11/ Vocabulary/ Comprehension Ex	29	Story25/ Vocabulary/ Comprehension Ex
14	Story12/ Vocabulary/ Comprehension Ex	30	Review
15	Review	31	期末試験
16	中間試験		

【履修上の注意事項】

毎時間、英和辞書を持参する。指名されたら応答できるように予習を欠かさないこと。

【評価方法】

中間および期末試験の成績と授業への積極的参加

【テキスト】

受講生の平均的な英語力などを勘案して選択し、2回目の授業で紹介する。

【参考文献】

適切なものをハンドアウトの形で配布することがある。

英語Ⅲ

担当教員 -奥間 隆伸

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

基礎的な英文読解力及び、書く力を総合的に伸ばすことを目指します。そのために英語の文章構成（語句、文など）、や展開法（アイデアの配列）を学びます。その上で必要なreading skills（skimming等）の習得を目指し、実生活や専門科目で応用できることを目標としたい。授業では、個人、ペアワーク、グループワークを通じて積極的に英語に触れ、使っていきたい。

【授業の展開計画】

教科書を使って幅広い話題に関連してリーディングを行い（時には音読やリスニングも）、英語の運用能力を高めていく。そのため、受講者はリーディングに関して単語のチェックなどの予習をすることが求められます。また、講義では様々なタイプの活動（個人、ペアワーク、グループワークなど）を行っていきます。

第1週： 講義の概要説明、英語による自己紹介

第2週～第7週： 各課の学習

第8週： 中間試験

第9週～第15週： 各課の学習

第16週： 期末試験

【履修上の注意事項】

1. 積極的に授業に参加してください。特にCALL教室では、自主的、意欲的な学習態度が必要です。
2. 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。
3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。
4. 教室では携帯電話の電源を切ること。
5. 遅刻、私語、居眠り、携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。

【評価方法】

出席点25%、平常点25%（宿題・小テスト・レポート・授業への参加度）、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。

総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。また遅刻3回で欠席1回とみなします。

【テキスト】

Effective Reading Level 2 成美堂 宍戸真 小泉朝子 1300円（税別）を使用予定。

*事情により、テキストは変更の可能性があります。

【参考文献】

必要に応じて授業で配布します。

英語Ⅲ

担当教員 大田 かお里

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

この講義では英文の全体の構造を意識しながら英文の大意をつかむ練習をします。特に英文を左から右へと読んでいく練習を重ねる事により、英文を速く読む訓練をします。同時に毎週各ユニットのモデル英文を暗誦する事により基礎的ライティング能力を養成します。

【授業の展開計画】

テキストの流れに沿って進めていく。ユニットごとのモデル文の小テストを行い総合評価に加味する。以下のスケジュールは変更する場合がある。詳細は初回の講義に説明する。

週	授 業 の 内 容
1	講義概要説明
2	英文の構造の解説おそびパラグラフリーディングの基礎
3	Unit1 大学生のアルバイト
4	Unit2 健康志向国民
5	Unit3 当世大学生気質
6	Unit4 心配なホームステイ
7	Unit5 日本人にとってアメリカとは
8	Unit6 酒と大学生
9	Unit7 帰国子女のカルチャーショック
10	Unit8 働きがいとは何か
11	Unit9 アジアと日本
12	Unit10 なぜ英語が話せない
13	Unit11 当世親子関係
14	Unit12 受験英語の功罪
15	Unit13 高齢化社会の行く末
16	期末テスト

【履修上の注意事項】

ユニット毎のモデル文の小テストをする。
30分以上の遅刻2回で1回の欠席とみなす。
10回以上の欠席は単位を与えない。
予習を必ずして、辞書を授業に持ってくる事。

【評価方法】

各ユニットの小テストおよび期末テスト、出席率、貢献度をもとに総合的に判断する

【テキスト】

Read Better to Write Better

【参考文献】

英語Ⅲ

担当教員 一仲宗根 朋美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

この授業では、アメリカの学生、及びアメリカにいる非英語話者の学生に向けてCNNが企画したニュース番組 CNN Student News の内容を教材にしたテキストを用いる。英語圏に限らず、世界を取り巻く様々な興味深い問題を英語で読んでいく中で、主に読解力の養成に重点を置いて授業を進めていく。

【授業の展開計画】

注：授業の流れによっては、下記スケジュール変更の可能性あり。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	講義概要説明	17	Unit 8
2	Unit 1	18	Unit 8
3	Unit 1	19	Unit 9
4	Unit 2	20	Unit 9
5	Unit 2	21	Unit 10
6	Unit 3	22	Unit 10
7	Unit 3	23	Unit 11
8	Unit 4	24	Unit 11
9	Unit 4	25	Unit 12
10	Unit 5	26	Unit 12
11	Unit 5	27	Unit 13
12	Unit 6	28	Unit 13
13	Unit 6	29	Unit 14
14	Unit 7	30	Unit 14
15	Unit 7	31	期末テスト
16	中間テスト		

【履修上の注意事項】

必ず辞書を、授業に持ってくる（電子辞書可）。

30分以上遅刻した場合は、欠課とみなし、遅刻3回で1回の欠課とする。

10回以上欠課した場合は、単位を与えない。

【評価方法】

中間テスト、期末テストの結果に、授業参加・貢献度を加味し、総合評価を決定する。

【テキスト】

CNN Student News (1) (朝日出版社)

【参考文献】

特にないが、必要な際には、授業で適宜紹介する。

英語Ⅲ

担当教員 宮城 和文

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2・3・4年次対象 全学科(水土2)

【授業のねらい】

英語学習における4技能のバランスのとれた伸長を最終目標に据えながらも、本講座では基礎的な「読み」そして「書き」の演習活動に焦点をあて学習を展開していく。(1)まとまりのある英文を効率的かつ正確に読めるようになるための有効なReading Skillsを身につける。(2)読んだ内容について読後感を短文の英文でつづり、それをクラスで共有する。(3)Vocab-Notebook(単語ノート)を作成し講座期間中、継続的に語彙力増強に努める。

【授業の展開計画】

テキストのユニット演習とあわせて、毎週2～3編のパラグラフを読み切る。受講生は、指示された箇所をしっかりと予習して講義にのぞむこと。テキストに登場する語彙の定着を図るため、毎週ミニクイズを行う。※受講生の学習状況および学習内容の理解度に応じ、下記計画に変更が生じる場合がある。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Introduction / Vocab-level Check	17	Skimming for a Main Idea 1 / Quiz 08
2	Measuring WPM (1)	18	Skimming for a Main Idea 2
3	Vocabulary Strategy 1 / Quiz 01	19	Skimming for a Main Idea 3/ Quiz 09
4	Vocabulary Strategy 2	20	Review the Units (4)
5	Vocabulary Strategy 3 / Quiz 02	21	Scanning-Product Labels/ Quiz 10
6	Review the Units (1)	22	Scanning-Charts
7	Pre-reading Activities / Quiz 03	23	Scanning-Numbers / Quiz 11
8	Understanding Reference Words 1	24	Review the Units (5)
9	Understanding Reference Words 2/ Quiz 04	25	Connecting Ideas / Quiz 12
10	Understanding Reference Words 3	26	Reading for Pleasure
11	Review the Units (2) / Quiz 05	27	Reading Skill Exercise- / Quiz 13
12	Predicting-Signal Words	28	Reading Skill Exercise-News Articles, etc
13	Predicting-Contrast / Quiz 06	29	Measuring WPM (2) / Quiz 14
14	Predicting-Cause & Effect	30	Course Review
15	Review the Units (3) / Quiz 07	31	Final Exam
16	Mid-Term Exam		

【履修上の注意事項】

1. 「単語ノート」専用に学習ノートを1冊準備してください。
2. 毎回辞書を持参すること。電子辞書でもよいが、辞書機能付き携帯電話等の講義中の使用は認めない。
3. 時数3分の1を超える欠席は、学則により不可。授業進行の妨害になるので以下厳に慎むこと：遅刻、私語、居眠り、チューインガム、理由不明の離席、携帯電話等の使用など。なお、遅刻3回で欠席1とみなす。
4. 開講日オリエンテーションには大切なお知らせが含まれるので、受講生は正当な理由なしに欠席しないこと。

【評価方法】

- 40%: Examinations
 30%: Review Quizzes
 20%: Vocab-Notebook
 10%: In-class Contributions

【テキスト】

Reader's Ark Intro-Getting Ready for a Journey, by Ushiro, Nakagawa, & Le Pavoux, 2012年、金星堂

【参考文献】

講義内で適時紹介

英語Ⅲ

担当教員 小橋川 里美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

This class is designed to learn about some parts of the law and law related words/phrases through the American movie "The Rainmaker". We can learn American justice and injustice, work of lawyers, the jury system and so on through the trial scenes.

【授業の展開計画】

ユニット毎に内容が把握できているかの小テストあり。単語テストは2ユニットずつまとめておこなう。クラスを12のグループに分け、割り当てられたグループはそれぞれのユニットの"Reading"の部分の和訳をおこなう。また、そのテーマに沿って調べたものを発表してもらう。Writing assignmentあり。以下のスケジュールは変更する場合があります。詳細は最初の授業の時に説明します。

週	授 業 の 内 容
1	Introduction, グループ分け、 Unit 1
2	Unit 1
3	Unit 2
4	Unit 3
5	Unit 4
6	Unit 5
7	Unit 6
8	Unit 7
9	Unit 8
10	Unit 9
11	Unit 10
12	Unit 11
13	Unit 12
14	Writing assignmentの準備
15	Writing assignmentの準備
16	Final Examination (Units 1-12)

【履修上の注意事項】

予習をしてくること。毎回プリントで資料を配布しますので、きちんとフォルダーに入れて紛失しないようにして下さい。電子辞書持込み可。ただし、小テストや試験の時は使用禁止。講義中の携帯使用は禁止。マナーを守って下さい。Writingの課題は少なくとも提出の1週間前までに、下書き（英語でワード形式のもの）を持ってきてチェックさせるように。

【評価方法】

出席状況 + 授業への参加姿勢 10 %
 小テスト 35 %
 和訳 + 調べ学習発表 10 %
 Writing Assignment 10 %
 期末試験 35 %

【テキスト】

American Justice in Focus (Macmillan Languagehouse)

【参考文献】

特になし

英語Ⅳ

担当教員 山城 莉乃

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）、全学科（火金1）

【授業のねらい】

英語のReading and Writingを通して読解力と英作文を練習します。テキストの他に、英字新聞、週刊誌、月刊誌などを読み、最終課題として、身の回りにおける英語で書かれた物の発表をします。

【授業の展開計画】

1週	夏休みの思い出を英作文
2週	Unit 9
3週	Unit 9 and 10
5週	Unit 10 and 11
8週	Unit 11 and 12
9週	Unit 12 and 13
11週	Unit 13 and 14
12週	Unit 14 and 15
13週	Unit 15 and 16
14週	Unit 16
15週	期末テスト
16週	課題発表最終日

【履修上の注意事項】

1. 遅刻、欠席はしないようにしてください。欠席届は必ず提出すること。
2. 授業中のおしゃべりは講義妨害のため、退室を命じます。
3. 毎時間英作文を提出しますので、辞書を持参のこと

【評価方法】

テスト40%＋英作文40%＋課題発表20%＝100%＋受講態度
但し、欠席が三分の一の場合は、学則により自動的に評価は「不可」となります。
優80～100点、良70～79点、可60～69点、不可59点以下

【テキスト】

The World Watches Japan 編著者 竹村 日出男 南雲堂 2012

【参考文献】

英語Ⅳ

担当教員 仲宗根 朋美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

法律に関する題材を扱った英文を読む中で、英語の法律用語を学び、一般常識程度の英語で書かれた法律関連記事を理解することができる英文読解力を養成することを目的とする。

【授業の展開計画】

テキストの精読を中心にした授業展開になる。現時点では、テキストが未定なので、詳細については、講義初回にて説明する。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1		17	
2		18	
3		19	
4		20	
5		21	
6		22	
7		23	
8		24	
9		25	
10		26	
11		27	
12		28	
13		29	
14		30	
15		31	
16			

【履修上の注意事項】

必ず予習をして、辞書を授業に持ってくること（電子辞書可）。
30分以上遅刻した場合は、欠課とみなし、遅刻3回で1回の欠課とする。
10回以上欠課した場合は、単位を与えない。

【評価方法】

講義初回にて説明する。

【テキスト】

現時点では、未定

【参考文献】

あれば、適宜、授業中に紹介する。

英語Ⅳ

担当教員 奥間 隆伸

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

英語Ⅲを基礎に、読み、書く能力の一層の強化を図る。その中で特に速読を実践する。速読における第一目標として70～80%の理解度で、130～150wpm (words per minute)の読解速度を目指し、最終的には200 wpm 程度の読解速度の達成に努めたい。そしてこの授業で学習したことを実生活や専門科目で応用できることを目標とした。授業では、個人、ペアワーク、グループワークなどを通じて積極的に英語に触れ、使っていきたい。

【授業の展開計画】

教科書を使って幅広い話題に関連してリーディングを行ない（時には音読やリスニングも）、英語の運用能力を高めていく。そのため、受講者はリーディングに関して単語のチェックなどの予習をすることが求められます。また、講義では様々なタイプの活動（個人、ペアワーク、グループワークなど）を行っていきます。

第1週： 講義の概要説明会

第2週～第7週： 各課の学習

第8週： 中間試験

第9週～第15週： 各課の学習

第16週： 期末試験

【履修上の注意事項】

1. 積極的に授業に参加してください。特にCALL教室では、自主的、意欲的な学習態度が必要です。
2. 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。
3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。
4. 教室では携帯電話の電源を切ること。
5. 遅刻、私語、居眠り、携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。

【評価方法】

出席点25%、平常点25%（宿題・小テスト・レポート・授業への参加度）、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。

総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。
また遅刻3回で欠席1回とみなします。

【テキスト】

Reading Expert 1 成美堂 宍戸真, Kai Nordyke 1800円（税別）を使用予定。

* 事情により、テキストは変更の可能性があります。

【参考文献】

必要に応じて講義で配布します。

英語Ⅳ

担当教員 小橋川 里美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

法律関連のreading passagesを読み、英語を通して法律用語等を学びます。一般教養としての英語なので、深い専門的なことまではカバーできませんが、日常生活の中での法律に関する英語記事を読み理解できるようにする。

。

【授業の展開計画】

教科書が現時点で未定なので、最初の授業のときに詳細を説明します。

【履修上の注意事項】

出席に関しては、遅刻3回で一回の欠課（欠席扱い）とみなします。欠課が10回になると、単位はありません。電子辞書持ち込み可。ただし、小テストや試験の時は使用禁止。講義中の携帯電話の使用も禁止。

【評価方法】

最初の講義のときに説明します。

【テキスト】

未定

【参考文献】

英語Ⅳ

担当教員 宮城 和文

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2・3・4年次対象 全学科（水土2）

【授業のねらい】

前期「英語Ⅲ」の発展コースとして、比較的長めの英文エッセイにも躊躇することなく対応できるようにReading Skillsのさらなる向上をめざす。くわえて、読んだ内容の概要や読後の感想について、文章にまとめ受講生同士共有しあうことで、扱われている題材の理解深化をめざす。さらに、日々の出来事を英文でつづる“3-line Diary”（仮称：3行日記）を学期を通して課題にし提出することで、英語を「書く」行為に慣れる。

【授業の展開計画】

※前期「英語Ⅲ」における受講生の学習状況および学習内容の理解度・到達度等に応じて、下記計画に変更が生じる場合があります。

- 身近な話題を集めたテキスト（選定中）を使用し、600-700語程度で構成されたエッセイを毎週1～2編読み切る。
- 各章に、数人のUnit Leaders（仮称）を割り当て、演習問題などの責任解答者を務めてもらう。
- エッセイに登場した語彙・表現の定着を図るため、毎週ミニクイズを行う。
- 第2回目の講義から、3-line Diary（仮称：3行日記）の提出を開始し、以降開講期間中毎日提出する。

Week 1: Course introduction / Vocabulary Check

Week 2-6: Units / Review Quizzes

Week 7: Mid-term Examination

Week 8-15: Units / Review Quizzes

Week 16: Final Exam

【履修上の注意事項】

1. 辞書は毎回持参。電子辞書でもよいが、辞書機能付きの携帯電話などは講義中の使用不可。
2. 時数3分の1を超える欠席は、学則により単位認定できません。
3. 以下の行為は授業運営に悪影響を与えるので厳に慎むこと：遅刻、私語、居眠り、チューインガム、途中離席、携帯電話等の使用など。なお遅刻3回で欠席1とみなす。
4. 開講オリエンテーションには大切な告知が含まれるので、正当な理由なしに初回講座を欠席しないこと。

【評価方法】

40%: Examinations

30%: Quizzes

15%: 3-line Diary

15%: Unit Leaders / In-class Contributions

【テキスト】

開講日に告知します。

【参考文献】

適時講義内で紹介します。

英語Ⅳ

担当教員 赤嶺 ゆかり

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅳ

担当教員 大田 かお里

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

この講義では英文の全体の構造を意識しながら英文の大意をつかむ練習をします。同時に毎週各ユニットのモデル英文を暗誦する事により基礎的ライティング能力を養成します。

リーディングスキル向上の為に、テキスト以外に英字新聞、特に法律や行政問題を扱った記事を扱います。

【授業の展開計画】

この講義では英文の全体の構造を意識しながら英文の大意をつかむ練習をします。特に英文を左から右へと読んでいく練習を重ねる事により、英文を速く読む訓練をします。同時に毎週各ユニットのモデル英文を暗誦する事により基礎的ライティング能力を養成します。Exerciseでは、そのユニット毎の重要構文をさらに深く理解する為に演習を重ねます。

週	授 業 の 内 容
1	講義概要説明
2	Unit 1 大学生のアルバイト
3	Unit 2 健康志向国民
4	Unit 3 当世大学生気質
5	Unit 4 心配なホームステイ
6	Unit 5 日本人にとってアメリカとは
7	Unit 6 酒と大学生
8	Unit 7 帰国子女のカルチャーショック
9	Unit 8 働きがいとは何か？
10	Unit 9 アジア VS 日本
11	Unit 10 なぜ英語が話せない？
12	Unit 11 当世親子関係
13	Unit 12 受験英語の功罪
14	Unit 13 高齢化社会の行く末
15	Unit 14 不便に耐えよう - 環境問題
16	期末テスト

【履修上の注意事項】

- ①ユニット毎のモデル文の小テストをする。
- ②30分以上の遅刻2回で1回の欠席とみなす。また10回以上の欠席は単位を与えない
- ③予習を必ずして、辞書を授業に持ってくる事。
- ④毎回赤と黒のボールペンを持参

【評価方法】

各ユニットの小テストおよび期末テスト、出席率、貢献度をもとに総合的に判断する

【テキスト】

Read Better to Write Better 金星堂

【参考文献】

英語Ⅳ

担当教員 渡久山 幸功

対象学年 2年

単位区分 選択

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（火金1）

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

英語Ⅲのクラスを発展させる形で、このクラスは食育的な観点からアメリカでベストセラーになったダイエットに関するテキストを講読し、文法重視の読解ではなく、英語の文章を多く読み、常識と想像力を駆使して、英語の文脈を理解しながら英文の大意をつかむ練習をします。副教材として食育に関するドキュメンタリー映画を鑑賞し、英文エッセイを書くなどして批判的思考を培い、実践的な英語力のアップ及び充実した英語対話の運用能力を鍛える訓練をします。

【授業の展開計画】

*講義の進度によって、講義予定に変更がある場合もあります。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Class Orientation & Film Super Size Me	17	Skinny Bitch Chapter 7
2	Super Size Me (2006, Continued)	18	Skinny Bitch Chapt 8
3	Skinny Bitch Introduction & Chapter 1	19	Skinny Bitch Chapter 9
4	Skinny Bitch Chapter 1	20	Skinny Bitch Chapter 9
5	Skinny Bitch Chapter 2	21	Skinny Bitch Chapt 9
6	Skinny Bitch Chapter 3	22	Film Food, Inc. (2009)
7	Skinny Bitch Chapter 3	23	Skinny Bitch Chapter 10
8	Skinny Bitch Chapter 4	24	Skinny Bitch Chapter 10
9	Skinny Bitch Chapter 4	25	Skinny Bitch Chapter 11
10	Skinny Bitch Chapter 5	26	Skinny Bitch Chapter 11
11	Skinny Bitch Chapter 5	27	Skinny Bitch Chapter 12
12	Film King Corn (2007)	28	Skinny Bitch Chapter 13
13	Skinny Bitch Chapter 6	29	Skinny Bitch Chapter 13, Afterword and
14	Skinny Bitch Chapter 6	30	Film Forks over Knives (2011)
15	Skinny Bitch Chapter 6	31	Final Exam (Skinny Bitch Open-book exam)
16	Midterm-Exam		

【履修上の注意事項】

(1) 遅刻や私語は厳禁。講義中の居眠りは欠席となる。(2) 講義中、携帯電話は電源を切ること。辞書としての携帯電話使用不可。(3) 講義中、教室を出入りする際は必ず講師に許可を得ること。(4) 講義には毎回辞書、テキスト、筆記用具を持参すること。(5) 毎講義前まで講読予習をすること。テキストの毎章の予習クイズあり。(6) 中間・期末試験は、open-book exam なので、テキストの購入必須。(7) 英文エッセイや課題を書籍、インターネット、その他から剽窃した場合、不可とする。

【評価方法】

- ・課題（英文エッセイなど）20%、クイズ20%、中間試験30%、期末テスト(open-book exam) 30%。
- ・80点以上 優、70-79点 良、60-69点 可、59点以下 不可。
- ・留意点：授業回数の3分の1以上（10回）欠席すると、文部科学省の規則により自動的に不可となります。

【テキスト】

Rory Freedman & Kim Barnouim. Skinny Bitch. Running Press, 2009. 1,500円
Handouts (Newspaper Articles)

【参考文献】

Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English

英語Ⅳ

担当教員 糸数 淳子

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（火金2）

【授業のねらい】

基本的には、ねらいは英語Ⅲと同じ。適切なトピックを選んで、パラグラフ読解力をさらに伸ばす。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	クラスの概要説明	17	テキストまたはハンドアウトで読解訓練
2	Paragraph Readingについて	18	同上
3	テキストまたはハンドアウトで読解訓練	19	同上
4	同上	20	同上
5	同上	21	同上
6	同上	22	同上
7	同上	23	同上
8	同上	24	同上
9	同上	25	同上
10	同上	26	同上
11	同上	27	同上
12	同上	28	同上
13	同上	29	同上
14	同上	30	同上
15	同上	31	期末試験
16	中間試験		

【履修上の注意事項】

毎時間、英和辞書を持参する。指名されたら応答できるように予習を欠かさないこと。

【評価方法】

中間および期末試験の成績と授業への積極的参加。

【テキスト】

未定

【参考文献】

適切なものをハンドアウトの形で配布することがある。

英語 V

担当教員 大城 明子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1～4年次対象 全学科（水2金1）

【授業のねらい】

英検2級レベルの英語力を養成し、英語の統合的な実力をつけることを目的とする。

【授業の展開計画】

6月の英検試験をめぐり、テキストをすすめていくので注意してください。また、テキストは受講生が割り振られた担当箇所は責任をもって答えと考え方など説明することになります。語彙豆テストは、大量で確実な語彙定着を養うため、20回にわけて行うものです。また、英語リーディング力の練習もできる限り行うとともに、英語スピーキングの機会も随所にとり入れ、英語総合力を養うことにします。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	クラス概要説明、テキスト紹介 他	17	語彙豆テスト13 英検2級対策テキスト、
2	英検2級について、英検2級テキスト	18	語彙豆テスト14 英検2級対策テキスト、
3	ミニ英検2級模擬試験（実力判断）	19	語彙豆テスト15 英検2級対策テキスト、
4	語彙豆テスト1 英検2級対策テキスト	20	語彙豆テスト16 英検2級対策テキスト、
5	語彙豆テスト2 英検2級対策テキスト、	21	語彙豆テスト17 英検2級対策テキスト、
6	語彙豆テスト3 英検2級対策テキスト、	22	語彙豆テスト18 英検2級対策テキスト、
7	語彙豆テスト4 英検2級対策テキスト、	23	語彙豆テスト19 英検2級対策テキスト、
8	語彙豆テスト5 英検2級対策テキスト、	24	語彙豆テスト20 英検2級対策テキスト、
9	語彙豆テスト6 英検2級対策テキスト、	25	期末総点検（テストを含む）
10	語彙豆テスト7 英検2級対策テキスト、	26	Reading Passage、listening演習1 他
11	語彙豆テスト8 英検2級対策テキスト、	27	Reading Passage、listening演習1 他
12	語彙豆テスト9 英検2級対策テキスト、	28	Reading Passage、listening演習1 他
13	語彙豆テスト10 英検2級対策テキスト、	29	英検2級対策テキスト等 補充
14	中間総点検（テストを含む）	30	模擬一次試験（筆記）、16週目はリスニング
15	語彙豆テスト11 英検2級対策テキスト、	31	
16	語彙豆テスト12 英検2級対策テキスト、		

【履修上の注意事項】

○講義内で英和・和英辞書で調べる機会があるので、必携です。○積極的な参加はボランティアポイントとして成績評価点で反映されます。○就職活動による講義欠席についての優遇措置はとりません。（就活の講義欠席は課題提出により5回までは欠席減点は行わないが、課題申請は本人がじかに申し出てください。詳しいことはオリエンテーションで説明します。）

【評価方法】

定期テスト、語彙豆テスト、発表、ボランティアポイント、減点（遅刻、欠席、内職、睡眠、態度不良等）すべてを合計した上で評価します。

【テキスト】

講義概要説明時にテキストは紹介し、購入を求めます。

【参考文献】

英語Ⅵ

担当教員 津波 聡

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1～4年次対象 全学科（火木3）

【授業のねらい】

ペアドリルやスピーチを通して英検準1級レベルの英語力を目指します。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Orientation	17	Listening & Reading 13
2	Listening & Reading 1	18	Listening & Reading 14
3	Listening & Reading 2	19	Listening & Reading 15
4	Listening & Reading 3	20	Listening & Reading 16
5	Listening & Reading 4	21	Vocabulary & Speaking 3
6	Vocabulary & Speaking 1	22	Listening & Reading 17
7	Listening & Reading 5	23	Listening & Reading 18
8	Listening & Reading 6	24	Listening & Reading 19
9	Listening & Reading 7	25	Listening & Reading 20
10	Listening & Reading 8	26	Vocabulary & Speaking 4
11	Vocabulary & Speaking 2	27	Listening & Reading 21
12	Listening & Reading 9	28	Listening & Reading 22
13	Listening & Reading 10	29	Listening & Reading 23
14	Listening & Reading 11	30	Listening & Reading 24
15	Listening & Reading 12	31	Proficiency Test
16	Vocabulary & Speaking 3		

【履修上の注意事項】

- (1) 講義はできるだけ英語を使用します（学生も英語を積極的に使うことが望めます）
- (2) 指定された席に座る
- (3) 無断欠席、遅刻をしない *遅刻 2回で欠席 1回とみなします
- (4) 辞書持参（できるだけ電子辞書）

【評価方法】

授業態度、出席状況、クイズ、学習記録（ポートフォリオ）を総合的に評価する

【テキスト】

授業の中で連絡します。

【参考文献】

授業の中で連絡します

英語Ⅶ

担当教員 カレン ルーダース

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1～4年次対象 全学科（水木4）

【授業のねらい】

CLASS WILL BE CONDUCTED IN ENGLISH ONLY. The purpose is to enable the student to LEARN ENGLISH well enough to perform to his/her satisfaction on TOEIC & similar examinations. Achievement of that goal is dependent on the student's current & developing skills in English. However, improvement of skills in test-taking can contribute to increase in test scores. This course includes focus on strategies of test-taking and studying.

【授業の展開計画】

Sequence and extent of classroom activities depends on the size of the class, the abilities of the students, and the effort they extend to contribute cooperatively to the progress of the course. The following, therefore, is but tentative. The numbers refer to the weeks of the semester.

- 1-2 Assessment of students (by the teacher AND by the students). Explanation and examples of what is likely to be done during each class.
- 3-11 Tests and test-taking. May include student-produced tests. (You learn by doing--not only taking tests, but making/giving tests.)
- 12-14 End-of-semester assessment. (Students satisfied with a C grade may be absent the last three weeks if they have missed no other classes.)
- 15 Self-evaluation (in principle, students grade themselves, but should not expect to receive a grade which they have not earned). Attendance this final week is required of all students who have not previously negotiated approval of grade-assignment.

【履修上の注意事項】

Students are expected to be professionally responsible in citing sources and giving credit for any work which is not their own. They are granted the privilege to photo or film the class and any materials but must honor copyrights and personal preferences for privacy. This is an educational institution, so leniency is tolerated but is not to be exploited.

【評価方法】

In principle, the grading is non-competitive and self-determined. Nonetheless, it is assigned by the teacher. Students are expected to provide self-assessment and explanation for inadequacies.

【テキスト】

Text to be considered and explained during the first week of class. Students should be aware of distinctions of public domain as well as allowable and restricted usage of copyrighted materials.

【参考文献】

I advise against usage of Japanese explanations. This list was given by a previous instructor.
 秋葉利治・森秀夫 2010『英単語・熟語ダイアログ1800 CD3枚つき』改訂版. 旺文社. ¥2,400 (税別)
 鶴田知佳子・柴田真一 2008『世界を動かすトップの英語 CD付』コスモビア. ¥2,100 (税別)

英語Ⅷ

担当教員 里 麻奈美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1～4年次対象 全学科（月木5）

【授業のねらい】

この授業では、TOEFLの試験問題に取り組みながら、総合的な英語力を伸ばす事を目的とする。まず、TOEFLの問題を実際に解くことによって試験の形式に慣れ、出題の傾向をつかむようにする。次に映画などの教材を用い、リスニングとリーディングの力を伸ばすようにする。また、課題やグループプレゼンテーションを通して、ライティングとスピーキングのスキルの向上を目指す。

【授業の展開計画】

詳細は講義内で連絡する。

【履修上の注意事項】

特になし。

【評価方法】

出席状況、受講姿勢、課題、プレゼンテーションなどから総合的に判断する。

【テキスト】

クラス内で紹介する。

【参考文献】

クラス内で適宜紹介する。